

第二十四回帝國議會 院 地租條例中改正法律案外二十九件委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治四十一年二月一日午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

栗原 亮一君	松浦 五兵衛君	野田 卯太郎君
古井 由之君	菅原 傳君	奧野 市次郎君
栗塚 省吾君	北村 左吉君	濱名 信平君
森本 駿君	大岡 育造君	田中 定吉君
永島 龜代司君	武市 庫太君	水暮 武太夫君
多田 作兵衛君	内山 吉太君	中倉 万次郎君
上埜 安太郎君	池田 惟貞君	松田 吉三郎君
安田 勳君	内藤 利八君	大石 熊吉君
齋藤 良輔君	藤澤 幾之輔君	大津 淳一郎君
大熊 三之助君	木村 半兵衛君	關野 善次郎君
横田 虎彦君	紫垣 一雄君	鈴木 摠兵衛君
久保 伊一郎君	竹内 正志君	三井 忠藏君
服部 小十郎君	富島 暢夫君	濱田 國松君
早速 整爾君	愛澤 寧堅君	

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 水町袈裟六君

大藏省主税局長 櫻井鐵太郎君

大藏書記官 菅原 通敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酒造稅法中改正法律案(政府提出)

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)

麥酒稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

石油消費稅法案(政府提出)

關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出)

○委員長(栗原亮一君) ツレデハ開會致シマス、酒造稅、砂糖、石油ノ三增稅案ニ付キマシテ、既ニ大体ノ質問ハ度ヲ重ネマシタカラ、今日ハ三案ノ内容ニ付テ質問ヲ片附ケテ宜カラウト思ヒマス、ツレデ酒造稅ハ酒造稅中改正法律案、酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案、麥酒稅法中改正法律案、此三案ヲ一括シテ内容ニ付テ御質問ニナルヤウニ致シタイ

○竹内正志君 私ハ增稅案ノ根本ニ付テ大体ノ質問ヲ致シタイト思ウテ居リマシタガ、併シ前日來他ノ諸君ヨリ段々御質問ガ出テ大概分ラウト思ヒマシタカラ、私ハ差控ヘテ居リマシタガ、唯今マデノ答辯デハ、ドウモ增稅案ノ出テ根本ガ理解スルコトガ

出來ナイ、ツレ故大体ノ質問ヲモウ少シシタイト思ウテ居ッタノデス——數字等ハ前日來ノ說明ヲ理解シマシタケレドモ、增稅案ノ出テ趣意ガ私ニハ分ラヌノデ、大体ニ付テ能ク質問シタイ、唯今ノ委員長ノ御宣告デハ大体ノ質問ガモウ出來ナイヤウデアリマスガ、ツレハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、昨日大体ノ質問ハ盡キタリト云フコトノ御宣告モナク決議モナイヤウデアリマスガ、突然サウ云フ御宣告ハ大体ノ質問ヲシタイト思フ者ニハ甚ダ困ル譯デアリマス、ドウカサウデナク、極レバ致方ナイガ、マダ極ツテ居ナイ、大体ノ質問ハ盡キタリト云フコトモ昨日承ツテ居ラズ、マダ私ハ昨日ノ質問ヲ繼續シテ大体ノ質問ガ出來ルコト、思ウテ居リマシタガ、如何デセウカ

(「ヤルベシ」ト呼フ者アリ)

○大津淳一郎君 既ニ此會モ第一回ヲ除イテ、第二回三回今度ハ四回トナリマスカラ、委員長ノ御宣告モ一應御尤ノヤウニハ存ジマスガ、併シ前回ハ何時モ二時御開會デ回ハ重ツテ居リマスケレドモ、委員會ノ審查ノ時間ハ極メテ短イデアリマス、故ニ大体ノ質問ト云フ點ニ付キマシテモ、唯今竹内君カラノ御說明モゴザイマスガ、今少シ大体ノ計畫ヲ確メテ、贊成スル上ニ於テハ、最モ能ク質問ヲ盡シテ世ノ中ニ對シテモ斯樣ナル理由ナルガ故ニ贊成シタト云フノデ、初メカラ反對ト覺悟シテ居ルノナレバ質問ノ必要モアリマセヌガ、贊成スル諸君ガ此ノ中ニアルト思ヘバ、却テ此質問ハ御タメニナルコト、思ヒマスカラ、餘リ御切上ハ御早クナサラス、却テ御自分ノタメヲ思ウテ、御聽下スッタ方ガ、御贊成ノ諸君アルトスレバ、結構デアル、私共ノ質問モ強テ初カラ反對ノ覺悟テ質問ハシナイノデアリマス、御說明ニ依ッテ意志ヲ定メタイト思ヒマスカラ、今少シ大体ニ於テ質問ヲ御許シナッタ方ガ宜カラウト思フ、私共ハ一二點極メテ簡單デゴザイマスガ、質問致シタイト思フコトガアル、ドウカ質問ダケハ議員ノ意志ヲ成ルタケ御抑ヘ下サラスニ、委員長ハ寛容ニ御許可ノアルヤウニ致シタイト思フ

○委員長(栗原亮一君) 質問ガアリマスナラバ、決シテナラヌト云フ譯デハアリマセヌ、昨日質問ガ餘程出マシタケレドモ、大體論ハ同ジヤウナ御質問ガ多ク、政府委員ノ答辯モ同ジヤウデアリマシタカラ、今日ハ新工風ノ御質問ガアリマスレバ、成ルベク要點ヲ擧ゲテ……

○竹内正志君 成ルベク要點ヲ擧ゲテ御尋ラシタイト思ヒマスガ、私ノハ此增稅案ノ今委員長ノ言ハレタヤウニ數字ナドデアレバ極ク簡明ニ一言ニシテ盡キル質問ガ出來マスケレドモ、私ノハサウデナイノデアリマスカラ、初カラ御斷リシテ置キマス、私ノ質問ニ對シテ唯今御出席ノ政府委員ニ御答ガ出來ルカドウカ知リマセヌガ、出來レバツレデ無論満足スルノデアル、必シモ首相ノ御答辯ヲ聽クトカ大藏大臣ノ答辯ヲ聽ク必要ハナイノデスガ、併シ私ノ質問セント欲スルトコロハ、少シ今ノ政府委員ニハ如何カト存ジマス、此事モチヨツト申シテ置キマス、今更改メテ申迄モナク、昨年ノ議會ニ於テ一番議論ノアリマシタノハ、諸君モ御承知ノ通り支出デナクシテ、收入ノ點デアッタヤウニ思フ、收入ト云フコトニ付テハ、皆吾々議員ハ心配致シマシタ、斯ノ如キ豫算ガ出ル以上ハ、將來約一億

圓以上ノ穴が出ルヲ思フ、其金ハドコラ出ルヲ云フコトニ付テハ、吾々代表者タル議員ハ皆心配致シタ次第アル、此點ニ於テハ餘程ヤカシイ議論ノアツタト云フコトモ隠レナキ事實デアツテ、重ニ此收入ト云フコトニ付テハ皆心配致シタ、其時分ニ當時ノ大藏大臣ハ未來ノ事ハ語レナイト云フコトデ、兎ニ角四十年度ノ豫算ハ四十年度ノ豫算ト云フヤウナ、誠ニ不親切極マル御答辯ガアツタ、而シテ政府カラハ、十年計畫ト云フ案モ出シ或ハ十二年計畫若シクハ十五年計畫ト云フ長イ案ガ出ル、是ハ常ノコトデア、併ナガラ昨年ノ議會ニ於テ、或一議員ガ質問シタラ未來記ハ語ラナイト云フコトデ、打切ツデシマツテ、サウシテ到頭要領ヲ得ズニ濟ンダト云フノハ、即チ此本年度ノ豫算ヲ議スル當時ノ狀況デアツタニ違ヒナイ、ソレカラ當時ノ大藏大臣ハ頻リニ財政ト云フコトニ付テ樂觀サレテ、所々ノ宴會ニ於テモ或ハ輸出輸入ハドウデア、數百萬圓ノ輸出超過ニナツタカ云フコトヲ言ツテ、非常ニ樂觀サレテ居ッテ、四十年度四十一年度無論軍事費剩餘金ガアル、或ハ俘虜收容費ガアルト云フ臨時ノ收入ガアルカラ宜イ、併ナガラ四十二年度以降ハドウスルカト云フコトニ付テハ、誰モ疑フ懷イテ居ッタコトデ、必ズ穴ガアイテ來ルヲラウ、此支出ハドウシテスルノデアアルカト云フコトニ付テハ、誰モ心配ラシナイ者ハ無カッタト云フノガ當時ノ實況ニアツタニ違ヒナイ、然ルニ衆議院ニ於テハサウ云フコトヲ未來記ハ語ラヌト云フコトヲ濟ンデシマツケレトモ、私ノ怪ムノハ貴族院ハドウデアツタカ、是ハ今日殆ド公然ノ秘密ニナツテ居リマスカラ、私ガ此所デ申シテモ宜カラウト思フ、貴族院ニ於テハ丁度反對ノコトヲ政府ハ明言シテ居ル、ナカノ未來記ハ語ラヌト云フヤウナ不親切ナル一言ヲ以テ切抜クコトガ出來ナカッタ見エテ、此先ドウスルカ、四十年度四十一年度ハ宜カラウガ、四十二年度以降ノ收入ハ政府ハドウ云フ算ガアルカ、少ナクモ一億圓以上ノ金ガ不足スルコトハ分ツテ居ル、是ハドウ云フ見込ガアルカト云フコトヲ質問サレタ時分ニ、確カ首相ノ口ヨリ出タト思フガ、ソレハ増稅ヲシナイデモ繰延ヲシナイデモ如何様ニトモ致スト云フコトヲ明カニ答ヘラレタデア、是ハ今日殆ト公然ノ秘密デアラウト私ハ思フ、衆議院ニ於テハ未來記ハ語ラヌト云フコトヲ置イテ、貴族院ニ於テハ詰メラレタ時分ニ如何様ニトモ致シマス云フコトヲ責任アルコトヲ政府ヲ代表サレル首相ノ口ヨリ言ハレタト云フコトハ、是ハドウ云フ譯デアアルカ、貴族院ト衆議院ニ於テ政府ガ二様ノ振舞サレタト云フコトハ、ドウ云フ譯サウニ云フコトニナルデアアルカ、私共ノ甚ダ奇怪ニ感ズルコトデアリマス、デソレモ一ツ私ハ御尋ヲ致シタイト思フ一箇條デアリマスガ、前申上ゲマスル通りニ果シテ政府ガ樂觀シタ、——此豫算ニ差支ハナイ、昨年ハ諸君御承知ノ通り、吾々ハ大雅量ヲ披イテ、政府ノ案ニ大ナル信用ヲ置イテ一厘半モ減少セズシテ原案通り其儘豫算ニ協贊ヲ與ヘタデア、栗原君ノ所謂明從ト云フコトヲ吾々ハヤツタデア、併シ當時ノ大藏大臣ノ言明セラル、トコロニ依レバ、今日増稅案ガ出テ來ル必要ハナイト思フ、無論戰後ハ大ニ休養ヲスルコト云フコトヲ言ハレテ居ルカラ、ソレハ足ラヌデアハナイカト云フコトヲ言フデヤルト、ソレハ斯クノモノガアル、或ハ四十二年ニ條約改正ヲスレバ、協定稅率ガ云々ト云フコトノヤウナコトヲ言ハレテ、始終何時デモ政府委員ノ言ハレタコトヲ樂觀的デアツテ、サウ此數年間ハ財政ト云フコトニ付テハ、餘リ心配ハ要ラナイト云フヤウナ語氣ヲ以テ答辯サレタト云フコトハ、諸君モ能ク御承知デアラウト思ヒマス、然ルニ今日ハ斯ウ云フ増稅案ト云フヤ

ウナモノガ突然吾々ノ手許ニ出テ來ルト云フコトハドウ云フ譯デアアルカ、若シ當時政府ガ計畫ト云フコトニ不明デアツタノカ、今日増稅案ヲ出サニヤナラヌト云フヤウニナルコトハ分ラナカッタデアアルカ、將タ貴族院ニ於テハ、サウ云フ明言ガ出來デアルトコロヲ見マスルト、衆議院ハ一時胡麻化シテ置イテモ宜イ、ナニ與ミ易イデアアルカラシテ、未來記ハ語ラナイト云フ一言ヲ以テ打切ツデシマツタモ宜イト云フヤウナコトデア、政府ハ今日ノ如ク増稅案ヲ出サナケレバナラヌト云フコトノ先見ガ立ッテ居テモ、算盤ノ上ニドウシテモ増稅案ヲ出サナケレバナラヌト云フコトヲ知ッテ居テモ、ソコヲ胡麻化シテサウ云フコトヲ明言セズニ置イタ、サウ云フコトデアツタノカ、政府ノ虛偽デアツタカ、詐術デアツタノカ、將タ然ラザレバ増稅案ヲ出ス必要ハナイト、今日マデ樂觀シテ居ッテ、四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテ、忽チ増稅案ヲ出サニヤナラヌト云フヤウナ考ニ立ツタデアアルカ、果シテ然ラバ政府ノ不明デアアル、虚偽ノ如キコトヲシテ、突然増稅案カ吾々ノ頭上ニ現ハレテ來ルト云フコトハ、甚ダ不可思議デ分ラヌ、政府ガ變ッテ居ルト自然其計畫モ別ニナリマスガ、一ノ政府デ——同一ノ政府ガ斯ノ如キ案ヲ御出シニナルト云フコトハ、昨年ノ財政計畫ニ付キ、豫算委員會ナドニ於テ政府ノ答辯ニナツタコロヲ考ヘマシタナラバ、今日増稅ノ出ル必要ハナイ、然ルニ是等ノ増稅ガ出タト云フコトハ、如何ニモ吾々ハ奇怪ノ千萬デ、解スルコトガ出來ナイノデゴザイマスカラシテ、此點ニ於テモ、政府ヲ代表シタ確カナル御答辯ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(水町袈裟六君) 答辯ヲ致シマスガ、四十年度四十一年度ノ此兩年度限リヲ見マスル、別ニ増稅モ要ラヌ、新シキ公債ヲ發行スルコト云フコトモシナイ、サウ云フ計算ハ確カニ出來ルケレドモ、四十年度ノ豫算會議ニ於キマシテ、既ニ四十二年度以後ニ於キマシテハ、不足ノ生ズルコト云フコトヲバ政府ニ於テモ見テ居リ、ソレカラ又委員會ニ於テモソレヲ御認メニナツタアツタト云フコト、此兩點ハ昨日速記録ヲモ引キマスルシ、早速君ノ御質問ニ對シテ出來ルケレト云フコト、此兩點ハ昨日速記録ヲモ引キマスルシ、早キマシテ又繰返シマスルコトハアルマイト考ヘテ居リマス、ソレカラ貴族院ノ秘密會云々ノコト、是ハ秘密會ノコドデモゴザイマスルシ、私共承知モ致シマスガ、是ニ付テ何カ特別ノ御必要ガアルカナイカハ知レマセヌガ、秘密會ノ席ニ於テノコトデアゴザイマスカラ、其公言ヲサレタノハ其人ノ説明ヲ待チマスヨリハ外、途ハナイト思ヒマス、之ニ付テ私カラ何モ御答辯スルコトハナイト思ヒマス

○竹内正志君 其答辯ヲ承リタイ、ソレガ私ノ質問ノ主眼デアゴザイマス

○大津淳一郎君 委員長……

○委員長(栗原亮一君) 成ルベク要點ヲ擧ゲテ述べテ下サイ

○大津淳一郎君 前回ノ私ノ質問ハ是ハ議論デアルト云フコトデ、御答ガナカッタノハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、私ハ議論デハナイト確カニ思フノデアゴザイマス、先日カラノ御說明ニ依レバ、前年ノ計畫ヲ一歩進ムルト云フ御說明ハ御尤モトシテ置イテ、然ラバ前年ノ計畫ヲ一面ニ於テハ、繰延ベラル、ダケ繰延ベテ、サウシテ明年カラハ足ラヌト云フモノヲ、此處デ増稅スルデアルト云フノガ、御說明ノ骨子ニナツテ居ル、如何ニモ繰延ベタモノハ各方面ニ於テ繰延ベテゴザイマス、ソレハ議案ヲ拜見ヲ致シテ居リマス、其繰延ト云

フコト、此線延ト云フコトが即チ財政計畫ノ根本ナル、線延ベラル、ダケ線延バシ、サ
ウシテ足ヲヌモノヲ増稅ニ依ルト云フコトデアルカラ、即チ線延ト云フモノ、増稅ト云フモ
ノト、此二ツヲ以テ四十一年度ノ財政計畫ハ成立タト見テ宜イ、然ラバ其根本タル
線延、之ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ、水陸運輸連絡ノ設備、是ハ神戸デス、ソレカラ横
濱ノ陸上設備ナドト云フコトノ如キハ、是ハ生産力ニ關係ヲ持ツテ居ルノデ、吾々モハ
斯ウ云フ經費ニ向ツテハ、寧ロ計畫ヲモツト大ニシタイト云フ前年來ノ希望デアル、北
海道ノ道路橋梁排水ト云フ如キモノモ、亦必シモ是ハ永年ニ亘ッテ差支ナイモノデ、
成ルベク早く進行ヲシタイト云フ希望ヲ吾々ハ持ツテ居ル、如何トナレハ是等ハ皆生産
力ニ關係ヲ持ツテ居ル、所謂國力ヲ發展スルコト云フ、斯ウ云フ經費ニ於テ、政府ガ計畫
ヲ立ツルハ、最モ大事ノコトデアラウト思フニ、是等ノ線延ヲシタ、勿論國ノ位置トシ
テ國防ト云フモノハ重大ナルコトデアルト私共モ考ヘテ居ル、日本ノ今日ノ國ノ地位トシ
テ、國防ト云フコトハ、無論大事ナコトデ前年ノ計畫吾々ノ代表者ガ、豫算委員會ニ於
テ少シク過大デハナイカト御忠告ヲ申シタヤウニ速記録ニ殘ッテ居ルヤウデゴザイマスガ、斯
クマデノ計畫ガナクテハナラヌト云フコトニ於テ、國防ノ充實ト云フコトニ向ツテ、本會ニ於テ
吾々共ハ賛成ヲ致シタ、然ルニ今年ニナレバ其陸軍海軍等ノ計畫モ線延ベテアル、前年
ノ御計畫ノ上ニ是ガ必要デアルト云フ御計畫ガ一週年過ギザル中ニ線延ベテ置クト云
フノガ、政府ノ方針トシテ奇怪ニ堪エヌノデ、ソレデ前日御質問ヲシタノダガ、ソレハ宜イ
トシテ、倍此線延方デ豫算委員會ノ速記録ナドヲ見マス、今日ハ平和ノ時代デハナ
イカ、平和ノ時代デ今戰爭ガ起ルト云フ時代デハナイカト云フコトヲ各方面カラ質問ヲシ
タノニ、政府ハ決シテ何時ドウ云フ事ガアルカ知ラヌガ、先ヅ平和ノ時代デ今遽ニ軍備ノ
準備金ヲ置カズトモ宜イト云フ如クニ解釋シテ御答辯ニナツテ居ルデアリマス、決シテ私
共ハ國防ニ對スルモノヲ重大デナイトハ思ハナイガ、既ニ政府ガ自ラ之ヲ線延ベテ財政ノ
計畫ヲ今年立デタノデアル、然ラバ此線延方、線延ベヤウニ依ツテハ、財政ハ如何様ニ
モ變ズルデアアル、七年ノ計畫ノモノヲ十年ニ直シ、十年ニシタモノヲ十二年、十五年ニ
計畫ヲ仕直シテモ財政ハ如何様ニモ立ツデアアル、然ルニ此經費ニ向ツテ斯様ナ或ハ
初度調辦費ニ、陸軍營繕費ニ於テ、二十三年度ニ亘ルト、二十三年ト云フコト
ニ切ツテアル、陸軍復舊費ノ如キ、四十二年度ニ亘ルト云フコト切ツテアル、斯様線延
方ニ年度ヲ限ツテ、是以上線延ベルト出来ナイ、此時期ヲ以テ線延ハ此所マデヲ限
度トシテ、線延ベナケレバ我國家ノ國防上ニ如何ナル危險ヲ感ズルデアアルカ、若シ之ヲ
今少シ線延ベルト國防上ニ於テ甚ダ憂慮ニ堪エナイコトガ起テ來ルト云フニ付テ、此線
延方ヲ此年度ニ限ツタト云フ理由ハドウデアアルカ、此年度ニ限ラヌデ今少シ延バスコトニ
致シタナラバ決シテ斯様ナ増稅ヲセズトモ、計畫ニ副フコトハ、ドナタニモ分ル話デアアル、私
共ハ強テ之ヲ線延セシメヤウト云フ議論デハナイガ、政府ガ自ラ計畫シタモノヲ、既ニ其
ノ計畫方針ヲ變ヘテ線延ベルト云フカラニハ、其線延ノ程度ヲ是ヨリ外ニ線延ベラレヌト
云フコトニシタノハ、斯様ナ列國ノ形勢デ斯様ナ有様デアアルカラ、是ダケ陸軍復舊ヲ延
バシテモ差支ナイトカ、陸軍海軍、既ニ線延ベルト覺悟シタカラニハ、無論日佛協約
モ、日露ノ協約モ成リ、前年計畫ヲ立デタ當時ノ時代トハ、世界ノ形勢ガ大ニ變ツタ
ト云フヤウナコトガ原因ヲ致シテ居ルデアアル、然ラバ其線延方ヲ此年度ニ限ラナケレ

バナラヌト云フ理由ガ一番大事ナトコロデアアル、若シ此年度ヲ今少シ延バスコトニナレバ、
斯様ナ増稅ヲセズトモ樂ニ往ケルト云フ計畫デアアル、併ナガラ平和ノ時代デアルト雖モ
國防上海陸ノ軍備ハ外交上ニ必要ガアルト云ヘバ、無論外交ハ即チ後ロニ武器持ツテ
スルト云フコトハ、世界ノ人モ言デ居ルコロデアアルカ、現内閣ノ外交上ノ狀態トシテ
ハ、海軍陸軍ヲ是ダケ控ヘテ居テ、果シテ鞏固ナル我國體ニ大ニ利益アル外交ニ進ンデ
居リマスカ、斯様ナ外交デアアルナラバ、陸軍海軍ハナクモ出來サウナ狀態デアッテ、今少シ
線延ヲシテ、増稅ヲセズシテ往ケルナラ線延ベタ方ガ寧ロ財政ノ方ハ鞏固ノ計畫ガ立ツデ
ハアルマイカ、此等ノ線延ニ於テ横濱神戸ノ稅關陸上トノ聯絡設備ト云フ如キモノニ、
付テ、當局ノ大臣若クハ次官、其人々カラノ御説明ニ依ッテ、斯クマデ線延ヲシテ横濱ノ
設備ハ差支ナイ、神戸ノ設備ハ差支ナイ、北海道ノ事業計畫モ線延ベテ差支ナイガ、
是ヨリドウシテモ線延ベルト出來ナイト云フ説明ヲ得タイノデアアル、陸軍海軍ノ方ハ
此時期ヨリ先ニ延ベレバ國家ノタメ憂慮ニ堪エナイト云フ、是ヨリ延ベルト出來ナイ、
是ガ即チ精々線延ヲシタコトコト云フ事情ヲ若シ明ラサマニ言フコトガ出來ナケレバ、所謂
秘密會ニシテモ可ナリデアアル、其計畫ノ實況ヲ述ベルト云フコトハ、即チ當然ノコトデア
ッテ、之ヲ質問スルノハ又當然ナル權利ヲ持ツテ居ル、計畫ヲ何故ニ年度ヲ切ツタト云フコ
トヲ質問スルニ何モ差支ハナイ、又説明スルノガ吾々ヲシテ満足セシメ、國家ニ對スル忠
實ナル事柄デアアルト信ズルデアアル、是ガ即チ此財政計畫ノ根本デアアルガ故ニ、其根本ニ
付テ御説明アラント望ムデアアル

○政府委員(水町袈裟六君) 御答辯致シマス要スルニ御質問ノ要點ハ神戸、横濱ノ
港ニ關係ノ事業ノ如キ、經濟上必要ノ事業ヲ線延ベルトハドウ云フ譯デアアルカ、經濟上ニ
非常ニ損デハナイカ、ソレカラ次ニ軍備ニ關シ其線延年限ヲ今少シ長クスルコトハ出來ヌ
デアアルカ、其理由ハドウカト云フ、先ヅ軍備ト經濟上ト兩様ニ關聯シテ御質問ト承知
致シマシタ、ソレニ付キマシテハ何レニ致シマシテモ、延バスコトハ延バサナイデ、既定ノ計畫
通り遂行スルコトニ越シタコトハナイ譯デアリマシテ、ソレデモ神戸ニシテモ横濱ニシテモ延
バサナイデ若シ既定通り又ハ既定ヨリ早く竣工ノ出來ルヤウデアリマス、至極ノ事デアリ
マス、軍備ノ方デアリマシテモヤハリ其通りト思ハレマス、前年豫算委員會總會デ種々ノ人
カラ説明ノアリマシタ通り財政上ノ必要カラ致シテ線延トシテ遂行シタコトニ相成リマス
ルガ、サウ云フ考ヲ立デタ其結果、全体ノ組織ヲ害シナイ程度ヲ見出し、出來得ル限りノ
年限ヲ作りマシテ其間ノ年割額ヲ立デタ譯デアリマス、延バスコト、延バサナイコト、比
較スレバ、勿論延バサナイ方が宜シイ譯デアリマスガ、唯財政上ノ必要カラドウシテモ延
バサナケレバナラズ、其延バスコトハ、害ノナイコトヲ限度ト致シテ居リマスガ、併シ延バ
スコト云フ以上ハ多少ノ苦ムトコロガナイト云フコトハ、言ヒ能ハヌコトデアリマスカラ、詰リ
之ヲ以テ最極度トシテ是以上ニ引延バスコトモ出來ズ是位マデハ仕方アルマイト云フ
見込ヲ以テ、御覽ノ通りノ年割額ノ改訂ヲ致シタ譯デアリマス、ソコデ吾々ハ大藏省
ノモノデゴザイマスカラ、自分ノ役所ノ主管ノ方面ダケノミヲ著眼シマスルト、神戸ノ樂
港ニ關シマス經費ノ如キハ決シテ延バシタクハナイノデゴザイマス、併シ是ハ事業線延ヲ
多少致シマセヌト、ソレダケハヤハリ又前カラ成案以外ニ增收ヲ求メナケレバナラヌヤウニ
ナツテ參リマスカラ、已ムヲ得ズ總テ多少著シク繼續費ニナリマス分ニ付テ皆線延ヲ實行

スル、斯ウ云フ著眼ガ立チマシタ譯デゴザイマスカラ、其通リドウカ御承知ヲ願ヒマス

○大津淳一郎君 委員長

○委員長(栗原亮一君) 要點ヲ擧ゲテドウカ

○大津淳一郎君 サウシマスルト神戸横濱ハ宜シイガ、其先ノ陸軍海軍ノ繰延ハ計畫内ニナイダケヲ限度トシタデ、最早コ、ラナラバ少シモ害ハナイケレドモ、忍ビ得ル限リデア
ルカラ先ヅ見込シテ害ノ無イダケノモノトシテ、四十一年度ノ計畫ニシテハ、今少
シ奮發ハセラレナイモノカ、今少シ御延バシニナルト云フ御覺悟ハドウシテモ出來ナイノデ
ゴザイマセウカ、又殊ニ既定ノ計畫ヲ破ラナイダケノ範圍ニ於テ、其他ノモノヲ此年度ニ
於テ割當テタルデアアルカ、ドウニモ是迄ノ計畫ヲ延バスノニ、ソレデハ理由ガ少シ足ラナイ
ヤウニ思ヒマスガ、今少シ此年度ヲ限ルニハ理由ガアツタラ宜カラウト思ヒマスガ、唯今ノ
御言葉デケデノ見込デ、其ノタメニ此年額ヲ定メタルデアアルカ、其先キハドウシテモ多少ノ
害ガアツデモ延バスコトハ出來ナイト云フデアアルカ、ソコハ一番年額ノ定マッタ根本ノ議
論デアルト思ヒマスカラ、今一應ドウカ……

○政府委員(水町袈裟六君) ソコノ御答ヲ致シマスルノハ私等ハ僭越ニナラウカト思ヒ
マスガ、幸ヒ豫算委員會ノ陸軍大臣ノアレハ大石君ノ御質問ニ對シテハ御答デアリ
マシタラウカ、モウ此以上ハ計畫ヲ變ヘナクテハナラヌコトハ今日ノ形勢ガ許シマセヌ、ト
斯ウ云フ意味ノ説明ヲサレテ居リマスカラ、ドウカサウ御承知ヲ願ヒマス

○竹内正志君 今大藏次官ガ私ノ先刻ノ質問ノ御答ヲ下サルト云フコトハ困難スル
トコロト思ヒマスカラ、ソレハ始メヨリ承知シテ居タルデスガ、是ハ私ノ始メニ御問シマシ
タ質問ハ、殆ト此衆議院ノ體面ニモ權能ニモ關係スル事柄ダラウト思ヒマス、私ハ餘程
重大ナルコト、自ラ信ジテ居ルノデス、ソレデドウカ政府ヲ代表サレタ御方ガ、ドナタカ政
府ヲ代表シテ御答下サルヤウニ致シタイ、私ハ委員ノ一人トシテ此事ヲ請求致シマス、
是ハ委員長ノ方デ相當ノ手續ヲシテ下サイマスカ、或ハ政府委員自ラ御答下サリマス
カ、詰リ満足ナル御答ヲ承リタイデス、此事ハ私カラ要求致シマス

○委員長(栗原亮一君) 次官ノ御答辯デハ如何デスカ

○竹内正志君 次官デハ御答辯ガ出來ナイヤウデスガ……

○委員長(栗原亮一君) ソレハ又後日ニ譲リマセウ、地租條例中改正法律案……

○早速整爾君 私ハ其前ニ簡單ニ……

○委員長(栗原亮一君) モウ問題ニ移リマシタ

○早速整爾君 大體ニ付テ本案ニ入ル前ニ聽イテ置カナケレバナラヌコトガアリマス
ガ……

○委員長(栗原亮一君) ソレデハ早ク……

○早速整爾君 簡單ニ致シマスカラ、私ハ昨日私カラ御尋シマシテ、極ク丁寧親切ニ
政府委員カラ御答下サイマシタガ、其御答ニ付テ尙了解シ兼テ點點一二箇所アリマス、
ソレヲ少シ確メテ置キタイノデアリマス、私ガ此増稅ノ理由ト云フモノヲ知ルニ苦シムト云
フコトヲ申シマシタ同時ニ、少クモ來年度即チ明治四十一年度ニ於テハ増稅ヲシナク
トモ濟ムデハナイカト云フコトヲ申シマシタニ對シテ、大藏次官カラノ御答ハソレハ敢テ四

十一年度ハ増稅ヲシナクトモ濟マセバ濟ムケレドモ、増稅ノ收入ト云フモノハ法律ノ改
正ヲ行ウタ年度、直チニ增收ノ目的ヲ達スルコトモ出來ナイ、四十二年度ノ財政ノ基
礎ヲ定メルニハ四十一年度カラ増稅ヲ行フテ置カナケレバナラヌ、前途ノ財政ノ基礎ヲ鞏
固ニスルコトガ出來ナイト云フ意味ノ御答デゴザイマシタガ、成程左様ナ事情モアルコト、
思ヒマスルガ、併ナガラ此凡ソ財政ノ計畫ヲ立テ、而シテ此豫算ヲ編成スルニ當リマシテ、
國庫ノ剩餘金ガアルト云フコトヲ明白ニ公告シテ置キナガラ、増稅ヲ來年度——翌年度
ノ財政ノタメニ前年度カラ増稅ヲ行フト云フコトハ此豫算ヲ編成スル上ニ付テ、甚ダ穩
當ノ處置デ無イト云フコトヲ私ハ考ヘルデアリマスガ、此點ニ付テ政府ノ御答ハドウデ
アルカト云フト、豫算會デ説明ガゴザイマシタガ、二千三百萬圓ノ剩餘金ト云フモノハ四
十一年度、四十二年度ニ繰延ベルト云フコトハ私等ノ考デハ會計法ニ違反シテ居ルト
明カニ考ヘテ居リマス、會計法ニ違反シテ居ルト云フヤウナ疑ノアルコトマデモシテ、此三
千三百萬圓ノ剩餘金アルニモ拘ハラズ、殊更ニ四十二年度ヨリ増稅ヲ行フト云フコト
ハ、財政計畫ヲ立ツル政府ノ趣意ハ甚ダ不穩當ノ處置ト私ハ考ヘルデアリマス、一
方ハ前途ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルタメニ斯クノ必要ガアルト云フコトハ、是ハ政
府ノ事情ガアル、此事情ノタメニ一方ニハ此豫算編成ニ付テ誠ニ疑ノ有ル、又一方會
計法ノ上カラ申シマスレバ會計法ニ違反シテ居ラヌカト云フ疑ノ有ルコトヲ、敢テスルト
云フハ政府トシテ如何ナモノデアアルカ、此點ニ付テ更ニ私ハ少シモ差支ナイ、増稅シナケ
レバナラヌト云フコトニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスカラシテ、政府ノ意見ヲ明白ニ御答ヲ
願フテ置キタイ、私ノ昨日ノ問ニ對シテ更ニ確メテ置キタイノデゴザイマス、ソレカラモウ一
ツハ増稅ノ收入ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルヤ否ヤ、私ノ昨日來政府委員ノ懇篤ナル
御答ガゴザイマシタ、私ノ御尋シタルハ大藏省ノ増稅ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカ否ヤ
ヲ決定シテ置カナケレバナラヌト云フニ對シテ、今日ハ増稅ノ目的ヲ達スルコト出來ルト
云フヤウニ御辯明ガアツデ、其御辯明ニナル中ニ増稅ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フ
意見ヲ定メタルハ、明治二十九年デアル、次ノ年ニ至ツテ考ヘテ見レバ、是ハヤハリ唯經
濟上ノ狀態モ變テ來タト見エテ、増稅ノ目的ヲ達スル見込ガ立タト云フ御答デアツタ
ガ、是ハ私カラ見ルト甚ダ可笑シイ御答ナンデ、僅カ一年前ニハドウシテモ増稅ノ目的ヲ
達スルコトガ出來ナイト云フ大藏省ノ意見デアツタモノガ、翌年ニ至ツテ既ニ増稅ノ目的
ヲ達スルコトガ出來ル見込ガ立タ、時々都合ニ依ツテ政府ノ意見ガ變轉スルコトハ、吾々
ハ之ヲ甚ダ怪ムデアリマスガ、左様ナ風ニ始終政府ノ見込ガ變テ來ルトコトニナルト、今
度又モウ一年先ニナルト、今後ハ増稅ノ見込十分ニ確メルコトガ出來ヌト云フ風ニ變ッ
テ來ルカモ知レヌノデ、コンナ危險ハナイ、一年前ニ見込ガナイ、ソレカラ次年度ハ見込ガ
アルトスレバ、又時場合ニ依ツテ已ムヲ得ナイガ、或ハ後ハ戻ルカモ知レヌ、危險千萬、斯
様ナ危險ナル見込ヲ以テ、此増稅計畫ヲ立ツタコトハ大藏省トシテハ何ノ信念ガアツタカ、
一年毎ニ意見ガ變テ來ル、見込ガ變テ來ル、私ハ此點ニ關シテ大藏省ニ一定ノ見識
ガナイ、時場合ニ依ツテ始終意見ガ變更スルコトヲ確メルタメニ、更ニ此質問ヲ致スノ
デアリマスガ、其質問ノ要領ハ斯様ニ始終見込ガ變テ、大藏省ノ意見ガ動クコトニナ
レバ、此酒ノ増稅ノ如キモ增收ヲスルト云フ計畫ハ、非常ノ危險デハナイカ、大藏省ノ
見込ガ一年毎ニ動イテ居ル、危險ヲ冒シテ此増稅計畫ヲ立ツタコトハ、果シテ増稅ヲ必

要トシテモ、誠ニ國家ニ對シテ忠實ヲ缺イタ計畫ト云ハナケレバナラヌガ、之ニ對シテ大藏省ハ如何ナル考ヲ持テ居ルカ、此危險ヲ冒シテ迄モ斯様ナ無謀ナル増稅ヲ行ハナケレバナラヌ必要ガアルカ、增收ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナカタナラバ、前途如何ニスルカト云フコトヲ明白ニ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(水町袈裟六君) 御答申シマスガ、第一ハ豫算ノ編成ニ關スル一定ノ御意見ニ基キテ御質問ノヤウデゴザイマスガ、其御意見ハ御意見トシテ確カニ拜聴致シマス、併シ政府ノ方デ四十二年度ノ財源ニ移シ得ルデアラウト云フ見込ヲ以テ居マシムル數十萬ノ金額ノアルニ拘ハラズ、增收計畫ヲ四十二年度カラ立ツタ、其理由ハ前同ニ於キマシテモ出來得ルタメ詳シク御話申シマシタ積リデゴザイマス、ソレニ付キマシテハ吾々ノ方ノ考デハ將來ノ事ヲ見込シテ數年ニ亘リマシムル財政上ノ基礎ヲ立テルコトハ少シモ非難ヲ受クベキコトデハナク、殊ニ來年度ハ一通リ之デ計畫ガ出來ルカラ、再來年以後コトノハ既ニ不足ノ見エテ居デモ、ソレハ後ノ計畫ニ宜シカラウト云フコトハ、寧ろ國ノ財政上ニ於キマシテハ、避ケベキコトデアラウト考ヘテ居リマス、ソレデ說明モ致シ、又御覽ニモナッデ居リマス通りノ計畫ヲ立ツテ、四十一年度ノ豫算ヲ編成シタ譯デゴザイマス、之ニ付キマシテ會計法上ノ違法ト云フ嫌ヒハナイカト云フコトニ付テハ、御質問デアリマシタヤウデゴザイマスガ、是ハ前ニ豫算委員會ニ於キマシテ、小川君ノ御質問ニ對シテ一通リ說明ヲ致シマシタ積リデゴザイマスカラ、其外ニ申上ゲルコトハナイノデゴザイマス、ソレカラ第二ノ酒造稅ノ見込ニ關シマシテ御質問デアリマス、是ハ前同ニ私カラモ初メニ說明致シ、又櫻井委員カラモ說明致シ、最後ニ又私ノ方デ說明致シマシタ、明白ニ申上ゲテ置イタ積リデゴザイマス、詰リ二圓ヲ更ニ増スト云フコトデアリマス、施行初年ニ於キマシテ、終局ニ豫期スル增收ヲ得ルコトハ殆ド期シ難イデアラウト云フノデ、一割少シ餘計消費減ヲ見込シテ居ル位デアリマス、併シ櫻井委員ガ其節ヲヨツト付加ヘテ申シマシタ通り、事情ハ寧ろ幾ラ輕イ方ニ傾イテ居ルデアリマス、昨年ノ實績ニ依リマシテモ事ニ依ルト是程ノ減ヲ見ナクテモ濟ムカモ知ラヌト思フ位ニ、事情ハナッテ居リマス、併シ是ハ唯一年間ノ事實ニ依ッテ、想像致シマシムル極ク輕イ言葉ト御覽下サイマセ、計畫トシテハ今ノ一割以上ノ消費減ヲ見テ居リマスカラ、其通り御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○委員長(栗原亮一君) モウ本案ニ這入リマス、酒造稅ノ說明ヲ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレデハ是カラ酒造稅法中改正法律案其他ノ改正案ニ付キマシテ大体ノ說明ヲ申上ゲヤウト存ジマス、此酒造稅法中ノ改正ハ今回ノ増稅計畫中ノ一ツデアリマシテ、先般來大体ノ御質問ノ際ニ於キマシテモ、大様ハ既ニ御話申上ゲテアル積リデアリマス、即チ増稅ノ程度ニ於キマシテハ、第四條中ノ改正デアリマス、即チ一種、二種、ソレカラ第五種ニ至ルマデソレソレ稅率ヲ高メタノデアリマス、其稅率ヲ高メタル割合ハ第一種即チ主トシテ清酒ニ當ル分デアリマス、是ハ現今ノ稅率ガ一石ニ付テ非常特別稅ヲ含マセマシテ十七圓トナッテ居リマス、ソレヲ二十圓即チ一石三圓ヲ増ス、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ第二種以下ノモノニ付キマシテハ清酒ノ一石十七圓ヲ二十圓ニ増ス、ソレニ大体比準ヲ取リマシテ、第二種ハ二十五圓、三種ハ三十圓、以下ソレノ稅率ヲ改訂シテ斯ウ云フ事ニ致シタノデゴザイマス、ソ

レデ此結果ニ依リマシテドレ程ノ增收ガ得ラレルカト云フコトハ、既ニ大体ノ御質問ノ際ニ御話申上ゲテアルマス、又參考書モ御手許ニ差上ゲテアルマスカラ、其事ハ再ヒ茲ニ申上ゲマセヌ、ソレデ稅率ノコトハ唯今申上ゲル通りデアリマスガ、稅率以外ニ茲ニ數箇條ノ改正ヲ致シテアルマス、先ヅ其要點ヲ申上ゲマス、云フコト、清酒ソレカラ濁酒、燒酎、是ニハ現行法ニ於テ、ソレノ制限石數ノ規程ガアリマス、清酒ニ付テハ百石以上デナケレバナラヌ、濁酒ニ付テハ五十石以上デナケレバナラヌト、ソレノ制限ガアリマスガ、此制限ヲ相當ノ程度ニマデ高メルコトニ致シマシタ、此清酒其他ノ酒類ノ制限石數ヲ上ゲルコトハ、是マデ世間ニイロノ評論ノアル點デアリマシテ、營業者ノ側ニ於テモ今日全國酒造業者ノ有様ヲ見ルト、如何ニモ小サイ酒造家ガ澤山アル、個々ニ皆獨立シテ器具機械ヲ備ヘテ營業ヲヤッテ居ル、是ハ甚ダ全體カラ見ルト不經濟ナコトアル、且造石高ノ少ナイ製造業者ニハ營業ニ幾分無理ガ掛アッデ、ソレガタメニ遂ニ法律ニ觸レルヤウナコトヲ動モスルト起スコトガアル、全體カラ申シテモ餘リ小サイ製造業者ノアルノハ宜シクナイコトアル、成ルベク石數ヲ高クシテ段々ト製造業者ガ纏ッテ製造ヲヤルト云フコトガ利益デアルト云フ意見ハ、往々ニシテ營業者側カラモ聞イテ居ルコトデアリマス、併シ制限石數ナルモノハ、今日極ッテ居リマス、程度ハ、從來ノ統計カラ定メテ居ルデアリマスカラ、一概ニ之ヲ高メルノハ、遽ニ營業者ニ迷惑ヲ與ヘルコトデアリマス、サウ云フコトモ出來ナイ、先ヅ清酒ニ付テハ百石二百石ニスルガ宜カラウ、又濁酒ニ付テハ五十石百石ニ、又其他ノ白酒、味淋ト云フモノハ是ハ制限石數ノ規定ガ無カッタ、併シ是モ亦清酒ニ曩ニ制限石數ヲ定メマシタト同様ノ趣意デ、相當ナル制限ヲ付スルガ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ制限石數ノ規定ヲ加ヘヤウト致スノガ、第五條改正ノ要旨デアリマス、而シテ此制限石數ノ改正ニ付キマシテハ附則ノ方ニ規程ヲ設ケマシテ、今遽ニ清酒二百石以下デハ造ラセヌトシテハ營業者ニ迷惑ヲ與ヘルマシカラ、現ニ免許ヲ受ケテ二百石以下ヲ造ッテ居ル人ハ、當分其通りヤラセテ置イテ、或一定ノ年限ガ出來タナラバ二年カソコノ年限ヲ與ヘテ、其年限ガ來タナラバ其人ニ何トカ警告ヲシテ制限石數以上造ラセヌルヤウニ、斯ウ云フコトデ附則ノ方デ直チニ此制限ヲ適用シナイ相當ノ猶豫期間ヲ與ヘテ置クガ宜カラウ、斯ウ云フコトニ規程ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラモウ一ツノ箇條ハ稅法ノ取締ニ關スル點デアリマシテ、是マデ酒造稅法ニ依リ酒類製造ノ免許ヲ受ケテ營業ヲシテ居リマスガ、中ニハ此營業中稅法ニ違反シタコトヲ時々ヤル者ガアリマシテソレノ稅法規定ノ罰則ニ觸レテ處分ヲ加ヘネバナラヌモノガ往々ニシテアルマス、是ハ營業主ガ知ラズシテ雇人ガヤルトカ、或ハ營業主ガヤルニシテモ法律其他ノ規定ヲ十分了解セズシテ過ッテヤッタト云フ様ナモノデアリマスレバ、強チ之ヲ嚴密ニ責メルノハ無理デアリマス、ケレドモ、多數アルコトコロノ營業者中ニハ正當ニ營業ヲヤル考デナク、法律ヲ濫リ若ハ稅務官吏ノ目ノ届カヌト云フコトコロニ乘ジテ、イロノ不正ナコトヲヤルト云フコトガアリマス、サウ云フモノガアルト當ニ國稅ノ上ニ、即チ稅源ヲ失フト云フバカリデアリマセヌ、正當ニ稅ヲ拂ウテ營業ヲシテ居ルコトコロノ、誠實ナル營業者ニ對シテ迷感ヲ與ヘルノデアリマスカラ、是等ハ十分ナル取締ヲ加ヘンケレバナラマイ、ソレニハドウ云フ制裁ヲ加ヘルガ宜カラウト云フコトニ付テ段々研究致シマシタ、詰リ唯今申シマスルヤウナ不正ナ營業ヲシテ、正當ノ營業者ニ迷惑ヲ與ヘル

云フモノニ向ッテハ、其情狀ノ最モ重キモノニ向ッテハ之ニ相當スル重キ罰ヲ加ヘルガ宜シイ、ソレニハ即チ免許ノ取消ト云フコトデアリマス、一旦與ヘタトコロノ免許ヲ取消スヨリ仕方がナイ、サウナケレバ到底不正ナル營業ヲ爲スモノヲ制裁スルニハ足ルマイ、斯ウ云フ箇條が一ツアリマス、此箇條ヲ稅法ノ上ニ加ヘルコトニ致シマス、ソレカラ又從來酒造稅ノ犯則事件ニ付テ考ヘテ見ルト、是マデ酒造稅ノ取締ハ政府デモ人ノ手ヲ懸ケテ隨分細カクヤッテ居ル積リデアリマスケレドモ、遺憾ナガラマダ免許ヲ受ケズシテ酒ヲ製造スル犯則者ガナカク、多イデアリマス、是ハ又先刻申述ベマサル通り無免許者ガ酒ヲ造ルト云フコトハ正當ノ營業者ヲ甚シク妨害スルモノデアリマスカラ、是ニハ相當ナル制裁ヲ加ヘテ置カネバナラヌ、今日ニ於テハ罰金ヲ科スル規程ガアリマス、併シ其無免許者ノ反則ガ繰返シ、起ラヌヤウニ成ルベクシナケレバナラヌ、ソレニハ無免許者ノ製造シタコロノ酒、又其製造ノ用ニ供シタ器具機械ト云フヤウナモノハ之ヲ沒收スルガ宜シイ、サウシテ再ビ無免許製造ナドヲヤルコトノ出來ヌヤウニスルノガ取締上相當デアリマス、斯ウ云フコトデ酒類容器々具機械ヲ沒收スルト云フコトヲ加ヘルコトニ致シマス、ソレデ罰金ノ規程デアリマスルガ、現行ノ規程ニ據ルト無免許者ノ罰金ハ五十圓ヲ下ラズ、如何ニ少ナクとも無免許製造ト云フコトニナルト五十圓ノ罰科セラレ、此五十圓ト云フ程度ハ實際ニ於テドウモ穩カデナイヤウデアラウト云フコトデ、是ハ三十圓ト云フ程度ニ下ゲタノデアリマス、實際無免許者ヲ罰シマスニ於テ五十圓ト云フ多額ノ罰金ヲ科スルニ及バナイ場合ガ幾フモ是マデアッタノデゴザイマス、實際ニ適應スルヤウニ此規定ヲ改正スル、先ヅ酒造稅法ニ付テ改正ノ要點ハ、大体重ナルモノハ唯今申述ベルヤウナ箇條デアリマス、ソレカラ其次ニ酒精、酒精含有飲料……

(說明ハ一件々々願フト呼フ者アリ)

○委員長(栗原亮一君) 大体說明……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレハ極大體申上ゲテ置キマセウ、次ニ酒精及酒精含有飲料稅法中ノ改正ニ付キマシテハ、是又酒精ニ一石二十圓ト云フモノニ權衡ヲ取リマシテ、第二條中ノ稅率ヲ改正スルコトニ致シマス、ソレカラ又酒精並ニ酒精含有飲料稅法中ニハ是マデ制限石數ノ規程ガナカッタデアリマス、ソレヲ今回酒精ニテハ五十石、其他ノモノハ十石以上デナケレバ許サヌト、斯ウ云フ制限ヲ附ケルコトニ致シマシタ、此理由モ大體酒造稅法中ノ改正案ニ付テ申上ゲマシタ大體ノ趣意ハ變リマセヌノデ、ソレカラ免許ノ取消、此規程モヤハリ酒精並ニ酒精含有飲料稅法中ニモ同様ノ規定ヲ設ケマシテ相當ナル取締ヲ致ス、ソレカラ又反則者ガ造リマシタコトノ酒精其他ノ飲料用器具、器械沒收等ノコトハ、是又酒造稅法中ノ改正ニ伴レテ改正致スモノデアリマス、又罰金ノ制度ト云フモノモヤハリ酒造稅法中ニ付テ說明ヲ申上ゲタト同様ナル理由デアリス、先ヅ大體ソレデ止メテ置キマス、ソレカラ麥酒ニ付キマシテハ増稅ノ關係ニ於キマシテハ一石八圓ノ稅率ヲ十圓ニ改メルト云フノガ、稅率ノ關係デアリマス、ソレカラ又麥酒ニハ此第一條ニ規定ヲ設ケマシテ、米麥酒ノ釀造ニ使ヒマスルモノニ、是マデヨリモ割合ヲ多ク使フコトヲ許スト、斯ウ云フ規定ヲ設ケマシタノデ、是ハ昨今段々麥酒ノ釀造高モ殖エテ參リマシテ、日本ノ麥酒ガ外國ニ向ッテ隨分出ルヤウニナリマシタ、所ガ今日マデノ規程ノ原料ヲ使ヒマシテ麥酒ヲ造ッテソレヲ出シマス……外國ニ出スト重

モニ暖イ方面ヘ出シマス、ドウモ其麥酒ガ濁ッテ甚ダ面白クナイコトニナル、デ之ハ折角外國ニ輸出スルトコロノ麥酒ノ聲價ヲ墜スト面白クナイ點デアラカラ、詰リ米又ハ玉蜀黍又ハ砂糖、斯ウ云フヤウナモノヲモウ少シ餘計入レルコトヲ許サレ、バ、唯今申スヤウナ外國ニ輸出スルトコロノ麥酒ガ濁ルトカ、沈澱物ガ餘計出ルカ云フコトガナクナルカ云フノデ、相當ナルコト、思ヒマシテ茲ニ改正ヲ致スコトニ致シタデアリマス、ソレカラ又麥酒ニ付テハ是又製造免許ヲ致シマスルノニ制限ノ石數ガナカッタノデ、ケレドモ是ニモ相當ナル制限ヲ加ヘラレタ方が宜シイコトデアラウト云フコトデ、麥酒ニ付キマシテハ石數ヲ千石ト云フコトニ制限ヲ致シマス、ソレカラ免許ノ取消ト云フコトモ是又前來申述ベマサルヤウナ、同様ナル規程ヲ茲ニ設ケマシタ、ソレカラ器具器械酒類ヲ沒收スルト云フ規程モ是又同様デアリマス、ソレカラ又罰金ノ最低限即チ五十圓ヲ三十圓ニ改メマス、是モ同様デアリマス、大体麥酒ニ付テハ左様ナコトデアリマス、デ此三ツノ法律ハ附則ニ於キマシテ、公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス、ト斯ウ云フコトニ規程ヲ設ケマシタ、デ此趣意ニ付テ一言御參考ニ申上ゲテ置キマスルガ、酒、酒精、ソレカラ麥酒何レモ稅率ガ増スコトニナリマスノデ、稅率ノ増加ト云フコトヲ行ヒマスル際ニ於テハ、斯様ナ酒其他砂糖モアリマスルガ、砂糖等ノヤウナモノニ付テハイロ／＼營業者ガ思惑ヲ以テ見越製造ガアリマスルカ、見越輸入デアルトカ云フヤウナコトヲ致シマシテ、サウシテソレニ依ッテ利益ヲ得ル人モアリマスケレドモ、又大ナル損失ヲスル人モアリマセウ、是マデノ稅率改正ト云フヤウナ時機ニ於テノ經歷ヲ見マスルト云フ、斯様ナモノハ長イ間隙ヲ取ルノハドウモ全体カラ考ヘ宜シクナイ、營業者モソレニ依ッテ皆利益ヲスルモノデモナシ、政府——國庫ハ又豫期シタコロノ租稅ノ收入ヲ得ルコトガ出來ズシテ、折角營業者モ損ヲスル、國庫モ損ヲスル、斯ウ云フ結果ヲ來シタ例ハ往々ニシテアリマスルカラ、茲ニ本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行スト、此法案ガ兩院ヲ通過致シマシテ、確定致シマスレバ成ルベク速ニ此改正法案ヲ實施シナル、斯ウ云フコトニナルノガ宜シイコト云フ考カラ、茲ニ公布ノ日ヨリ之ヲ施行スト云フコトニ規程ヲ設ケタ次第デアリマス、尙詳細ナルコトハ御質問ニ依ッテ御答ヲ致シマス

○池田貞惟君 本員ハ此酒造稅法中改正案ノ第四條ニ付テ御尋ヲ致シマス、外ノコトデゴザイマセヌガ、第一種ヨリ第四種マデノ稅率ノ歩合ノコトニ付テ御尋ヲ致シマス、此改正案ヲ見ルト先ヅ第一種ハ現行ノ稅率即チ非常特別稅ヲ合算シタモノニ對シマス、先ヅ割合ガ一割四分ニ當ル、ソレカラ第二種ノ方ハ二割五歩、第三種ハ三割六歩、第四種ハ四割ト云フヤウニ増率ノ歩合ガナツテ居ル、是ハ何ヲ標準トシテ斯ウ云フ増率ノ歩合ヲセラレタモノデアリマス、單ニ此酒精分ノ度ニ依ッテ此歩合ヲ定メラレタモノデアリマス、一、第一種ニ當ル清酒ト云フモノハ、二種以下ノ酒精分ヲ含シテ燒酎、是ハ第二種ニ當ルモノトハ性質ニ於テハ違ッテアル、又實際ノ價格ノ上ニ於テモ等差ガアル、又消費者ハドウ云フ人ガ第一種ノ方ヲ消費スルカ、二種以下ノモノハドウ云フ人ガ消費スルカト云フ、第一種ノ清酒ハ先ヅ上流社會ガ消費スル、ソレカラ二種以下ノ燒酎、是ハ下等社會ノ者ガ消費スル、消費者ノ上カラ云ウテモ、此品質ノ善惡カラ云ウテモ、先ヅ一種ト其他ノモノトハ多少斟酌シナケレバナラヌ、二種以下ノモノハ比較的ニ稅率ノ歩合ヲ高クシタノハ何カ是ハ原因ガアラウ、唯度ニ應ジテ此稅率ヲ定メラレタノデアリマスカ、ソレヲ明カニ御說明ヲ願ヒタイ、或ハ大藏省當局者ノ說ヲ曾テ聽イタコトガ

アリマスガ、此焼酎ハ跋扈シテ清酒ノ造石高ガ減シテ來タ、是ハ詰ラヌ、國庫ニ大變影響ヲ及ボシタ、ト斯ウ云フコトヲ聽イタコトガアル、若シサウ云フ趣旨カラ此歩合ヲ定メラレタトスレバ、二種以下ノ燒酎ニ對シテハ、稍、制壓的禁止酒の意志ヲ含シテ斯ウ云フ歩合ヲ定メラレタノデナカト云フ疑ヲ生シマス、ソコヨ明カニ此歩合ヲ定メラレタ意志ヲ御聽キシタイ

○政府委員(菅原通敬君) 第二種ノ稅率ヲ定メテ標準ニ付テ御問デアリマスガ、御尋ノ通り第一種ノ方ノ増稅ノ割合ハ、第二種以下ノ種類ノ増稅ノ割合トハ大分歩合ヲ異ニシテ居リマス、此歩合ヲ異ニ致シマスル理由ハ、從來ニ於キマスル稅率ガ既ニ第二種以上ニ於キマシテ、第一種ノ稅率ニ對シテ比較的低ク出來テ居ルデアリマス、ソレデ稅率ノ總體ニ廉イ場合ハ酒精分ノ高イモノト低イモノト間ニ、稅率ノ歩合ヲ多ク隔リテ置ク必要ガアリマセヌガ、酒ニ對スル稅率ガ大体ニ於テ重クナルニ從ヒ、ソレニ從テ割合ノ稅率ヲ設ケテ往クノ當然デアリマス、ソレデ、三十八年ノ一月法律ヲ改正致シマスルニ付テハ、政府案ト致シマシテ第一種ハ十五圓、第二種ハ二十圓、第三種ハ二十五圓、第四種ハ三十圓ト云フヤウナコトデ稅率ヲ割合ヒマシテ、改正案ヲ議會ニ提出致シタノデアリマス、其以前ニ於キマシテハ、燒酎ニ付キマシテ云ヒマス、三十度以下ノモノト、二十度以上ノモノトノ間ノ稅率ノ割合ハ區別シテ居ラナカッタ、所ガ稅率ヲドウシテモ十五圓ニ上ゲルト云フ事ニナレバ、其處ノ間ニ區別シテ往カケレバ成ラヌト云フコトカラ、今申サユウナ改正案ヲ出シタノデアリマス、所ガ御承知ノ通り衆議院ニ於テ十五圓ヲ御認メニナッタガ、第二種以下ニ於テ政府案ヨリ多少ツ、低メテ決定ニナリマシタ、併ナガラ第二種以上ノ酒類ニ對シテ、稅率ヲ高メルト云フコトハ御認メニナッタガ、第二種ハ十八圓、第三種ハ二十圓、第四種ハ二十三圓ト云フ稅率ニ極メタ、ソレデ何故第二種以上ノモノノ稅率ヲ高メテ往カケレバナラヌカト申シマス、先キニ申シマシタ通り元來稅ヲ取ルト云フコトハ「アルコール」分ニ對シ取ルト云フコトデアリマスカラ、酒精分ノ多イモノニ付テハハナリ多イダケ割合ヲ以テ取ルノガ當然デアリマス、併ナガラ今日ノ現在デハ燒酎ノ如キ一部ノ飲料ニ成ッテ居リマス、殊ニ鹿兒島沖繩ニ在テハ普通ノ飲料ニナッテ居リマス、ソレニ對シテ「アルコール」分ノ稅ガ高クナル稅率ノ高クナルニ從ッテ消費者ノ負擔ガ重クナリマスカラ、此事情カラ三十度以下ニ付テハ清酒ノ二十度以下ト同様ノ稅率ヲ設ケテ置クト云フコトニナッタ、所ガ三十五度ナリ、四十度ナリ、四十五度ナリニナリマス、普通ノ飲料トナッテ居リマセヌ、ソレデ衛生上ノ方カラ考ヘテ見マシテモ、又重モナル財源デアル清酒ヲ保護スルト云フコトカラ見マシテモ、サウ云フモノガ飲料トシテ行ハレルト云フコトハ好マシイコトデナイ、ソレデアリマスカラ燒酎ノ高度ノモノハ成ルベク飲料ノ方面カラ、排斥シテ工業用ノ方面ニ轉ゼシムルト云フコトニシタラ宜カラウト云フコトデ既ニ御承知ノ通り成ルベク飲料ノ方面カラ工業用ニ燒酎ヲ入レヤウト云フ方針ヲ執ッテ居リマス、所ガ今回稅率改正ト云フコトニナリマシタカラ、酒精分ノ割合ニ應ジテ稅率ヲ定メナイト、勢ヒ割水ヲシテ飲料ニ供スルト云フコトノ弊害ガ起ッテ參リマス、ソレデアリマスカラ、清酒ト云フモノヲ保護シ、其財源ヲ充テルト云フ上カラ云フト、高度ナルモノハ多少高度ノ稅率ヲ負ハサナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メマシテ、從來ノ割合ヨリ多少割合ヲ高メタ稅率ヲ設ケルト云フコトニナ

リマシタ、ソレカラ立チマシタ序ニチヨット一應申上ゲテ置キタイコトガアリマスガ、此酒稅ニ増稅ヲ致スト云フコトハ、稅法審查委員會ノ決議ト矛盾シテ居ルト云フコトニ付テ度、御質問ガアリマシテ、ソレニ付テハ既ニ詳シク御説明申上ゲテアルコトデアリマスガ、所ガ尙或ハ疑問ガ十分ニ御解ケニナラズニ辨ラレテ居リハセヌカト云フコトデアリマスカラ、尙少シク敷衍シテ申上ゲテ置キタイと思フ、成程稅法審查會ノ報告ノシマヒノ一段ノミヲ御覽下サイイマス、御疑ノヤウナ文句モ見エルデアリマスガ、稅法審查ノ大体ノコトヲ御覽下サイイマシタラバ、自然御疑モ御解ケニナルデアラウカト思ヒマス、度、説明ヲ申シテ居ル如ク大藏省ニ於キマス稅法ノ調査ハ、増稅ヲ計ルト云フコトガ目的デモナシ、又減稅ヲ期スルト云フコトヲ目的トシタノデモアリマセヌ、要スルニ現在ノ收入ヲ維持スルコトヲ主眼トシテ調査致シマシタ、ソレデアリマスカラ若シ茲ニ酒ニ付テ増稅ヲスルト云フコトデアリマス、酒ニ於テ増稅スル代リニ何カニ於テ減稅スルト云フコトガ前提ニナラナケレバナラヌ、ソレデ茲ニ記載シテアリマスモノ、酒ニ於テ、増稅ヲスルノ餘裕ガ絕對ニナイト斷ジテアルノデハナイ、酒ニ於テ増稅シテマデモ他ノ租稅ニ於テ減稅ナケレバナラヌト云フ必要ハ認メナイト云フコトニナリマスカラ(「違ヒマス」ト呼フ者アリ)ソレハ審查報告ノ全體ヲ通ジテ御覽下サイイマス、サウ云フコトニナル、ソレカラ尙御覽ヲ願ヒタイノ審查報告ニ書イテアリマスノハ稅額又ハ稅率增加ノ割合ダケ増加セズシテ止メタリト書イテアリマスカラ、是ニ於テ増稅ノ目的ヲ達スル能ハザルヤ必セリト云フノハ、稅率ヲ増シタダケツレダケ稅額ヲ増スコトハ出來ヌト云フノデ、ソレデ四百萬石ノ造り高ニ對シテ十七圓ノ稅率ガ掛ッテ居ル、サウスルトツレガ六千八百萬圓デアアル、ソレニ二圓上ゲテ二十圓ニナルト二圓ガ八千八百萬圓取レル譯デアアルガ、八千八百萬圓ハ取レナイ、六千八百萬圓ニ對シテ八千八百萬圓ハ取レナイ、即チ稅額ハ稅率增加ノ割合ダケハ増加シナイト云フノデアアル、稅率ヲ増シタカラ絕對ニ増稅ノ收入ガ上ラヌトハ云フテ居ラヌ、ソレデアリマスカラ今度ノ計畫ハ普通申シマス、千二百萬圓ヲ得ベキ計算ヲスベキガ普通デアリマスガ、千二百萬圓トハ四十一年度ノ豫算ハ積ッテ居ラヌ、五百萬圓其一分ノ一ニモ足ラナイ計畫ヲ御覽ニ入レテアルト云フコトデアリマス、是等ノ前後ノ關係ヲ御覽下サイイマス、決シテ審查會ノ報告ハ増稅ノ餘裕ガナイモノデアルトハ斷定ハ出來マセヌ、關係の二論ジテアルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ

○大熊三之助君 私立酒造稅法ノ第三十三條、ソレカラ酒精及酒精含有飲料稅法ノ第二十三條ノ二、ソレカラ麥酒稅法中デハ第十九條ノ二トナッテ居リマス、之ニ付テ御尋ヲ致シタイノデゴザイマスガ、第一番ニ「處罰」又ハ處分セラレタル者ニ對シテハ政府ハ酒類製造免許ヲ取消スコトヲ得」ト云フコトニナッテ居リマスノハ無論行政處分トシテ御遣リニナルコト、考ヘテ居リマスガ、中ニ疑ヲ抱キマスノハ處罰ヲスル場合ニ於テハ、地方裁判所ニ於テ處罰ヲ致シマスカラサウ云フ場合ニ刑事事件ノ附帶トシテ判決スルコトハナイノデアリマスガ、ドウカト云フコトヲ御尋シテ置キマス、ソレカラサウ云フコトハナカラウト思ヒマスガ、念ノタメ御尋シテ置キマス、ソレカラ本條ノ主義ニ依リマス、一箇年ノ處罰又ハ處分ニ對シテ直チニ製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得ト云フコトニナッテ居ル、是ハ餘リ極端ニ失スルノデハナイカ、固ヨリ本條ノ主義ニ依リマスレバ取消スコトヲ得ト云フコトニナッテ居リマシテ、スルトセヌトハ自由ニナッテ居リマスケレドモ、併ナガラ政府ハ取消サウト思ヘバ

自由ニ何時デモ取消スコトヲ許サレテ居リマス、斯ル製造ノ免許ヲ取消スト云フヤウナ、重大ナ事ハ法律ニ於キマシテ十分ナル制限ヲ付ケテ置カネバナラヌト私ハ信ジマス、總ツテ處罰又ハ處分ヲ受ケル者等ニ付テ考ヘテ見マス、中ニハ惡意ノモノガゴザイマセウケレドモ、故意若クハ惡意ノ犯罪バカリデゴザイマセウ、時ニハ過失カラ起ツタモノモゴザイマセウシ、或ハ雇人等ガ不調法カラ起ツタコトモゴザイマセウ、又時トシテ已ムヲ得ヌ事態ノタメニ此税法ニ觸レルヤウナ行爲ガアルコトモ往々アルノデゴザイマス、斯ル事態ノ内容デゴザイマスノニ、政府ハ國民ノ營業ノ自由ヲ斯クモ輕キシク見テ、何時デモ一度處罰若クハ處分セラレタ場合ニ於テハ、酒類製造ノ免許ヲ取消スト云フヤウナ極端ナコトヲシヤケレバ、到底此取締ハ付カヌデゴザイマセウカ、此點ニ對シテ先刻政府委員ノ説明ノ同ヒマス云フ、説明ノ中ニハ處罰若クハ處分セラレ、度々サウ云フコトヲヤツテ困ル、取締ガ付カヌト云フ言葉ガゴザイマシタガ、度々サウ云フコトヲヤツテ取締ガ付カヌト云フコトデゴザイマスナラバ、本條ニ付テ何回以上處罰若クハ處分セラレタルモノトカ、或ハ數回斯ウ云フコトヲヤツタモノト云フ文字ガ這入リマスレバ、政府委員ノ説明ノヤウナ趣意ニ取レマスケレドモ、本條ノ明文ニ依リマシテサウ云フヤウデハ少シモ無イノデゴザイマスカラ、是等ノ點ニ付テ何回置キタイ、ソレカラ今一ツハ「本法ハ公布ノ日ヨリ施行ス」トナッテ居リマス、ソコデ公布ノ日ヨリ施行スニ付テモ説明ハ承ツタノデゴザイマスガ、現在造リ込シテデゴザイマス酒、是等ニ對シマシテハドウスルカ、現在アルモノハヤハリ公布ノ以前ニ造ラレタルモノニ對シテハ、公布ノ日カラ新税法ニ依ツテ稅ヲ取ルノデアルカ、或ハ檢査トカ何トカ云フヤウナ其間ニ區別ヲ付ケルノデゴザイマセウカ、其方針ニ付テ是モ御尋ヲ致シテ置キタイ、序デゴザイマスカラ尙一過確メテ置キタイノハ先日私ノ質問ニ對シテ櫻井政府委員ノ御答ニ依リマス云フ、此麥酒ノ如キモノハ外國ニ於テハ全國民ノ飲料水ニナッテ居ルノデアル、ソレデアルカラ稅ガ廉イノデアル、決シテ稅法審査會ノ趣意ハ徹底セヌ譯デナイ、斯ウ云フ御答辯デゴザイマシタガ、若シサウ云フ御答辯ノヤウニ致シマス云フ、我國清酒ノ如キハヤハリ全國民ノ一般ノ飲料水ニナッテ居ル、殆ド飲マナイ人ハナイノデアリマス、ドウモ一般ノ飲料水デアルカラ廉イト云フコトデアリマス、其他ノ砂糖ニシマシテモ、鹽ニシマシテモ、サウ云フ理窟ニ依ツテ稅ヲ課ケヌカ、又ハ非常ニ廉クセネバナラヌガ、單ニ此麥酒ニ付テハ日本デハサウ飲マナイカラ高クテモ宜イト云フコトデハ、貫徹セヌヤウニ思ヒマスカラ、尙其點ニ向ツテ御尋シテ置キタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今大熊君カラノ御尋ニ御答致シマスガ、今度ノ改正法案中ノ免許取消ト云フコトニ付テハ、御説ノ通り酒造者ニ取ツテハ非常ナ苦痛デアルト同時ニ、免許ヲ取消ヲヤリマスコトハ、行政ノ處分トシテハ最モ慎重ナ態度デヤラナケレバナラヌト思ウテ居リマス、此規程ノ中ニ一回處罰ヲ受ケテモ直チニヤラル、カモ知レナイ、此邊ガ明カデナイ、且又稅務官吏ニ其職務ヲ任セルコトガ危險デアルト云フコトノ御趣意デアッタノデアリマスガ、此規程ヲ設ケマシタノハ先刻申上ゲマシタ通り、此犯則ヲ商賣トスルト云フテモ宜イ位ノ不正當ナ酒造者ガ中ニハアルノデアリマス、サウ云フ様ナモノニ向ツテハ、今日迄ノ様ナ罰金ト云フコトデハナカク、制裁ニナリマセヌ、サウ云フ様ナ非常ナ惡イ事ヲスルトコロノ不正當營業者三向ツテ適用スル、是ハ最後ノモノデ容易ニ之ヲ振廻サナイ、斯ウ云フ風ニ遣ラネバナラヌト思フノデス、ソレデ此處ニ處罰又ハ處分ト

ゴザイマスルカ、處罰ハ申迄モナク裁判ノ宣告ヲ受ケテ罰金其他ノ刑ヲ受ケタモノ、處分ト云フ方ハ是ハ間接國稅反則者處分法ト云フモノガアリマシテ、通告處分ヲ遣リマス、稅法何條々々ノ違反ニ當ルト思フカラ幾ラノ罰金ニ相當スル金ヲ納メナサイ、斯ウ云フ通告ヲシテ、ソレニ應ジテ金ヲ拂ツタ者ハ通告處分ヲ受ケタノデアリマス、其區別ヲ此處ニ立テテ積リデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、此處ニ一回、二回、三回ト云フ回數デ定メルノモ餘程ムヅカシイコトト思ヒマス、二十四條カラ二十八條ノ規定ニアリマスノハ、主ニ詐欺其他ノ手段ヲ以テ誤麻化シ、イロ／＼ナコトヲシテ造石稅ヲ免レントシタ其行爲ヲ處罰スルモノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ度々ヤツテ情狀ノ最モ重イ者ニハ外ニ制裁ヲ加ヘル途ガナイカラ、免許ノ取消ヲシテ往ク、斯ウ云フ趣意デ規程致シタモノデアリマシテ、之ヲ無暗ニ振廻シテ營業者ノ不安心ヲ惹起セサウナコトヲ多クスルト云フヤウナ趣意ハ毫頭ナイノデアリマス、ソレカラ此法律ハ公布ノ日ヨリ施行サレバ、サウ云フ時ニ於テハ今造リツ、アル酒ハドウナルカ、ドウ課稅ノ處分ヲ受ケタルコト云フコトデアリマスガ、酒ニ付テ申シマス云フ、酒ハ製成ノ時査定スル、即チ檢査査定ノ時期ガ此法律ノ公布ノ後デアレバ、改正ノ稅率ヲ適用スル檢査査定ガ公布ノ前デアレバ、舊法ヲ適用スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ私ガ麥酒ニ付テ申シタコトニ對シテ御問ガアリマシタガ、私ノ申上ゲヤウガ惡ルカッタカ知レマセヌガ、此方ノ麥酒ハ外國ヨリモ割合高イ稅ヲ課シテ居ルノハ、麥酒ハ主ニ上流社會ニ用井ルモノデアルカラ、是ニハ清酒ニ掛ケマスル割合ヨリモ高イ、ト云フ譯ハ清酒ハ酒精分十七度モアリマス、十七度デ二十圓トスレバ一度ガ一圓十五六錢ニナリマス、麥酒ハ五度ニナリマス、五度デ十圓ノ稅ヲ取リマスルト、一圓割合ニ麥酒ノ方ガ強イ課稅ヲ負擔スルヤウニ當リマスガ、詰リ麥酒ヲ消費スル者ハ上流社會ノ人デアルカラ、サウ云フ麥酒ニハ比較的重ク掛ケテモ相當デナイト云フコトヲ申上ゲタケデアリマス

○濱田國松君 此酒造稅法ノ第五條デアリマスガ、造石高ノ制限ガ「百石」ト云フノガ「二百石」ト云フコトニ改テアリマスガ、今日ノ酒造家ノ實際ト致シマシテ二百石以下ノモノト二百石以上ノ割合ハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、ソレバ一應伺ヒタイ、ソレカラ第二十二條ノ此稅則違反ノ罰金ト云フモノガ清酒ノ方デハ二十圓以上五千圓以下ノ罰金デ、最高限度ト最小限度トガ示シテ居リマスガ、酒精トカ麥酒ニハ最高限度ガナイヤウニ思ヒマスガ、是ハドウ云フ關係ニナッテ居リマスカ、ソレカラ第三十三條ノ第二項デアリマス、免許ヲ取消シタ場合ニ於テ必要アルトキハ行政命令ニ依ツテ一定ノ期限內製成其他ノ必要ノ行爲ヲ繼續セシムルコトヲ得ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ二十二條ニ依テ免許ヲ取消ノ處分ヲ受ケタ、サウシテ製造ノ種類ハ沒收セラレタ、其沒收セラレタ、場合ニ於テ其酒類ガ熟製シテ居ルモノデアレバ、處分方ガ樂デアリマスケレドモ、未熟製ヤ何カノモノデ酒ノ處分法ニ因ルト云フコトカラ、行政命令法ヲ作ツデ必要ノ處分ヲ定メラル、コトニナルダラウト思ヒマスガ、此繼續セシムルコトヲ得ト云フノハ是ハ政府ガ自己ノ沒收シタ未熟製ノ酒ノ處分上、便宜ヲ得ルタメニ政府ノ必要上繼續セシムルコトヲ得ト云フコトニナリマスカ、或ハ處分ヲ受ケタコロノ釀造者ノ便宜上繼續セシムルコトヲ得ト云フコトニナリマスカ、若シ政府ノ便宜上繼續ノ行爲ヲ命令スルコトニナリマスルト、其沒收ヲ受ケタ釀造者ガ其行爲ヲ繼續ヲ欲シナイト云フコトニ

ナリマスレバドウ云フコトニナリマスカ、是ハイツレ命令決定マルコトデアリマセウガ、大體ノ御考ヲ承リタイ、未熟製ノ酒ヤ何カラ沒收シタトキニ、政府ハ熟製ヲ遂ゲシムルハ、大變便利デアリマスガ、併シ其違反者ガ其繼續ヲ欲シナイトキハ如何デアリマスカ、是ハ命令決定マリマセウケレドモ、一應御考ヲ承ツテ置キタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノニ御答致シマス、酒造税法中ノ改正ノ第二十二條ノ免許者ノ罰金ノ規定ニ酒造税法ニハ最高限ガアリ、茲ニハ最高限ガナイト云フ……

○濱田國松君 改正案ノ方デス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 麥酒ノ方ニハ最高限ノ規定ガナイ、此最高限ノ規程ハ今回別ニ改正ヲ致シマセヌデ最低限ダケヲ改正致シタデアリマス、ソレカラ必要ノ行爲ヲ繼續セシメルト云フ事ニ付テハ御問デアリマシタガ是ハ斯ウ云フ積リテ居リマス、御問ノ通り反則ニ掛ルモノヲ押ヘマシタ酒ガ、今醗酵中デアルトカ、イロノ製造ノ途中ニアルモノヲ押ヘルコトモアリマス、其品物ハ反則ニ係ルカラト云フテ醗酵中デアルモノヲ直チニ差押ヘテシマツテ、外ニ持出スヤウナコトヲ致シマスと云フト、ソレガ酒ニナラズシテ腐ッテシマフ、ソレ故ニ腐ラセルトハ是ハ當業者ニ取テハ沒收サレルデアリマスカラ、腐ッテモ腐ラナイデモ當業者ハ宜イヤウデアリマスガ、政府ニ取リマシテハヤタニ値打ノアル品物ヲ腐ラセルトハ大變宜クナイト思ヒマス、ソレデスカラ沒收スルモノニ付キマシテモ、必要ノ手入ヲシナケレバナラス時機ニアル酒ハ、ソレハ手當ヲシテ腐ラヌヤウニシテ、無用ニサウ云フ物ヲ廢棄サセヌヤウニ思フテ、サウサセルト云フデアリマス

○濱田國松君 繼續セシムルコトヲ得トアリマスガ、ソレハ其者ニ命令サレルコトニナラウト思ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 其積リデアリマス

○濱田國松君 欲シナクシテ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 欲シナイトキハドウモ仕方ガナイ、手ヲ取ツテヤラセル譯ニハ往カナイカラ、其場合ハ已ムヲ得ズ打擲ツテヤリマス

○濱田國松君 二百石以上ト以下ハ……

○鈴木總兵衛君 私モ序デニ麥酒ノ千石以上ト云フモノヲ聽キタイ

○政府委員(菅原通敬君) 清酒ノ二百石以上ト以下ノ區分デスカ

○濱田國松君 サウデス、今日ノ釀造業者ノ數デス

○政府委員(菅原通敬君) 二百石以上三百石未満ノモノガ二千〇〇四ツデ、釀造家ノ合計ガ一万三千三百九十五、ソレカラ二千幾ラ引イテ下サルト……

○濱田國松君 サウ致シマスルト營業者ノ狀態トシテハ二千八百人バカリガ二百石以上、九千人以下ノモノガ二百石以下ト造テ居ルト云フ、今日ノ現況デアリマスカ

○政府委員(菅原通敬君) 改メテ申シマスガ、二百石以上ノ總數ヲ合セマスと云フト六千零五十五ニナリマス、最前云ツタヤウナ二百石以上ト云フハ二百石以上三百石以下ト云フトコロノ間ノ數ヲ申シタデアリマス

○濱田國松君 サウデスカ

○政府委員(菅原通敬君) 成規ノ石高ニ達セザル未滿ノモノガ四千四百八十一、ソ

レカラ休造中ノモノガ八百五十九、之ヲ合セマスと云フト、最前申シマシタ一万三千三百九十五ノ總數ニ合フデアリマス、ソレカラ麥酒ノ方ヲ申シマス、麥酒ハ千石以上ノモノガ七ツ、ソレカラ千石未満ノモノガ四ツ、合セテ十一

○多田作兵衛君 一百石以上二百石未満ト云フノガ四千四百八十一人デアリマスカ、今仰シヤッタノハ、百石以上百九十九石ナント云フモノデ、二百石ヨリ以內ノソレガ四千四百八十一ト仰シヤッタヤウデアリマスガ、ソレハ違ヒマセヌカ

○政府委員(菅原通敬君) 二百石未満ノ總數ガ四千四百八十一

○多田作兵衛君 ソレカラ二百石以上三百石未満ガ千九百人ト仰シヤッタガ……

○政府委員(菅原通敬君) 總計デニ二百石以上ガ六千五百五十五デス

○多田作兵衛君 ソレハ總計デアリマスガ、内譯ヲ聽クノデス私ノ調デハ二百石以上三百石未満ガ千九百、三百石以上五百石未満ガ二千八、ソレカラ五百石以上ガ八百七十八、ソレニ違ヒアリマセヌカ

○政府委員(菅原通敬君) 違ヒマセヌ

○藤澤幾之輔君 チョット御尋フシタイノデスガ、第五條中ニアリマス制限石ノ點デアリマスガ、此法則ニ定メタ期間ガ到來シテ、サウシテ資本金ノ供給ヲ得ルコト能ハザルガタメニ營業ヲ廢止セザルヲ得ル場合ガアル、此ノ如キ場合ニ於テ煙草官營ノ事例ニ考ヘテ見マスルト、其業ヲ奪フガタメニ是ニ對スル賠償若クハ器具機械等ノ買上ト云フヤウナコトヲナサルデアリマセウカ、或ハソレハ直接ニ營業ヲ奪フニアラズシテ自然ノ結果茲ニ立至ルモノデアルカラ此ノ如キ賠償ハ必要デアルマイト斯様ニ御考ニナルデアリマセウカト云フコトガ一箇條デアリマス、ソレカラ第二ニ御尋致シタイノハ、此第二ニ條ノ場合ニ關係ノアルコトデアリマスガ、從來ノ收稅吏ガ酒造家ニ對スル關係ヲ見マスルト云フト、總テノ收稅吏ト云フコトデアリマセヌガ、場合ニ依リマスと罰則アルコトヲヒケラカシテ、酒造家ニ臨ンデ若モ待遇其宜シキヲ得ズ、甚シキニ至ッテハ挨拶ノ仕方ガ惡リト云フコトガ原因トナツテ、ソレカラ終ニ復讐ノ些細ナル失策ニ附込ミサウシテ大ナル事件ヲ惹起スト云フヤウナ事ハ、裁判ノ事例ニ於テ少ナクナイヤウニ思ハレル、然ルニ今ノ此條ニ於キマシテ、機械器具容器總テノ物ヲ沒收スルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、此ノ如キ物ヲ脊ニ背負ッテサウシテ酒造家ニ臨ムト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、從來トモ唯今申上ゲマシタ如キ弊ガアルノミナラズ、甚シキニ至ッテハ收賄ノ弊ト云フモノハ隨分多クアルヤウニ承ツテ居リマスガ、益、其弊ヲ助長セシムルヤウナ嫌ガアリハ致シマスマイカ、ソレガ第二、ソレカラヤハリ此條ニ於テ御尋致シタイコトハ、容器ヲ具機械トアリマス、此三種ノ中直接ニ釀造用ニ使フ機械ノ如キハ、勿論デアリマスガ、直接ナルヤ否ヤ、疑問ニ係リマスモノガアルカモ知レヌ、或ハ是ハ直接ノ中ニ入リマスカ知レマセヌガ、世ガ進ムニ從ッテ、汽機汽罐等ヲ此釀造業ノ上ニ應用スル者ガ段々出來テ來タ、大ナル汽罐或ハ機械ヲ設ケテ、釀造業ヲヤリマス者ガアリマスガ、此ノ如キ場合ニ於キマシテハ、帳面ニ記註ヲ——即チ爲スヘキ仕事ヲ爲サナカッタ、僅ナルトコロノ犯罪アリシガ故ニ是等ノ大ナル機械マデモ沒收スルト云フヤウナコトハナルデアリマセウカ、或ハ機械汽罐ノ如キニ至リテハ桶ヤ其他ノ權ノ如キ物ト同一ニ見ルコトカ出來ナイト云フヤウナコトデ、此ノ如キ大ナル機械ノ如キハ沒收シナイモノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、若シ此輕微ナル犯罪ア

リシノ故ヲ以テマシテ、斯ウ云フ汽罐マデ沒收セラル、ト云フコトニナリマシタナラバ、行爲ト罰ト相伴ハナイト云フ結果ヲ見ルデアアルマイカト云フ疑ガアリマス、此點ニ對シテハ政府ハ如何ナル御考ヲ持ッテ御出デアリマセウカ、是ガ第三、第四ハ取消ノ事ニ付テ御尋ヲ致シタイデアリマスガ、取消ノ方法ニ於テ何カ機關デモ政府ニ於テ設ケラレテ、相當ノ調査ヲ遂ゲテ審査ノ結果ハ營業ヲ取消スベシトナスカ、或ハ取消スベカラズトナスカ、適當ナル方法ヲ採ラレタナラバ過ガ少ナイカモ知レマセウガ、從來ノ例ニ依ッテ見マスト云フト、取消シト云フ場合トハ違ヒマスケレドモ、此稅務ノコトニ關係スルコトハ多クハ稅吏ノ報告ニ依ッテ其事ヲ處理セラル、ヤウニ思フノデアリマスガ、些細ナル犯罪ガアッテ、サウシテ而モ是ハ稅務吏ガ、何カ酒造家ニ對スル感情ヲ害スルヤウナコトガアリマシテサウシテ、政府ニ申告致シマシタヤウナ場合ニ於テモ、ヤハリハ政府ニ於テ之ヲ受ケテ直チニ取消サル、モノガゴザリマセウカ、或ハ縱令稅務吏ガ申告致シマシテモ、政府ニ於テ何カノ機關ヲ設ケテアッテ、其機關ニ於テ調査致シマシタ結果、取消スベキカ、然ラザルカニ吟味ノ上決定セラル、モノデアリマセウカ、其方法ヲ承リタイノガ第四デアリマス、ヤハリ此條ノコトニ付テ第五ニ承リタイノハ、若モ此法律ガ制定セラレマシタナラバダスナ、縱令微罪ト雖モ尙取消シ得ント云フ法律トナリマスガ、何ヲ以テマシテ輕イノハ是ニ依ッテ處分スルノデハナイ、重シト思フトコロノモノミハ是ニ依ッテ處分セラル、ト云フデアルト云フノデアリマセウカ、苟モ法律ヲ制定シタ以上ハ、手心ヲ以テ彼ニハ之ヲ適用シ、他ニハ之ヲ適用セズト云フヤウナコトヲサレタナレバ、甚キ弊害ガ起ル、例ハヤカマシヤノ酒造家ガアリマシテ、常ニ稅務吏ガ遣リ込メラレテ、不愉快ヲ感ジテ居ルト云フコトナラバ、極度ノ低イ事柄ニ於テモ營業ヲ奪ハレ、ソレカラオベカノモノ御世辭ノ上手ナ者ニハ少々ノコトハ是ハ斯ウ云フ失策ガアルケレドモ、内情ハ斯ノ如キモノデアルト云フ申告ガアッタナラバ、是ハ其業ヲ取消サナイト云フヤウナコトヲ誠ニ事實ニ於テハ面白カラザル結果ヲ現ハシテ、始終斯ノ如キコトガ批難ノ本トナッテ常ニ聞キ苦シイ話ヲ耳カラ絶ツコトガ出來ナイト云フヤウナコトニ立至ルヤウナコトガアルデアリマスマイカ、此邊ニ對スル御考ハドウデアルカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、明確ナル御答辯ガ願ヒタイノデアル、ソレカラモウ一ツ序ニ伺ッテ置キマスガ、此取消ヲ命ゼラレマシタモノハ、之ニ對シテ不服ヲ訴ヘルノ途即チ救済ヲ求ムルノ途ガナイノデアリマスガ、或ハ御設ニナル御積リデスカ、御設ニナラヌ御見込デアリマスガ、是モ合セテ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今御質問デアリマシタガ、此附則ノ中ノ造石制限石數ノ規程ハ四十四年十月迄ハ適用シナイ、併シ此四十四年ニ至ッテ釀造業者ガ資本ヲ増スコトモ増釀スルコトモ出來ズシテ居タナラバ、結局營業ヲ止メナケレバナラヌコトニナル、其營業ヲ止メバナラヌ時ニ於テ、何等補償ヲヤルコトヲスルカセヌカト云フコトデアリマスガ、此處ニ四五年ノ猶豫ヲ與ヘマシテ、其間ニ靜ニ計畫ヲサセルト云フコトニ致シマス以上ハ、營業者ニ於テモソレノ計畫ヲ立テ、事業ノ經營ヲヤルコトニナルデアラウ、即チ豫告ヲ與ヘテ置クコトデアラカラ、營業ヲ奪フトハ大ニ趣ク異ニシテ居ルノデアル、故ニ別段ニ賠償トカ補償トカ云フコトハヤラヌデモ宜カラウ、斯ウ云フ主義デ此規程ヲ設ケタデアリマス、ソレカラ第二十三條ノ免許ノ取消ハ稅務官吏ノ職權デアッテ、之ヲ濫用スル虞ガアッテハ頗ル危險デアル、營業者ガ安心出來ヌコトデアル、又從

來稅務官吏ノ行動ニ付テハ是ヲイトロノ御話ガアリマシタガ、此コトニ付テハ吾々當局者モ常ニ心配ヲ致シテ居ル、サウ云フコトハ決シテナイヤウニ稅務監督局ヲシテ監督ヲヤラシテ居リマスガ、多數ノ稅務官吏ノ中ニハ誠ニ遺憾ナガラ心得違ノ者ヲ生ジタコトモアリマシタノデ、サウ云フ點ハ稅務ノ監督トシテ、出來得ル限りノ力ヲ盡シテ、不正ノ行爲ヲ爲ストカ、收賄ヲスルトカ、職權ヲ濫用スルトカ云フコトハ飽マデ防止スル考デゴザイマス、ソコデ二十二條ノ無免許ノコトニ付テノ御尋ガアリマシタガ、免許ヲ受ケヌデ酒ヲ造ッタ者ハ其器具器械酒等ヲ沒收シマスガ、從來免許ヲ受ケテ居ッテ、ソレガ反則ラシテ其情ノ重イモノハ免許ヲ取消シマスガ、免許ヲ取消シマシテモ器具器械ノ沒收ハ致シマセヌ、全ク免許ヲ受ケヌデ勝手ニ造リマス其者ノ制裁ガ器具器械酒類ヲ沒收スルノデアリマスカラ、御示シノ如キ大規模ノ釀造、サウ云フ大規模ノモノハナカノ容易ニ今日デハ出來ナイト思ヒマスガ、若シ大仕掛ノ製造ヲ無免許デヤッテ居ル者ガアリマシタナラバ、ヤハリ二十二條ヲ適用シテ器具器械ヲ沒收スル、斯ウ云フ考デゴザイマス、ソレカラ又免許ノ取消ニ付テ尙御問ガアリマシテ、免許ヲ取消ス場合ニ其取消處分ノ調査機關ヲ設クルカドウカト云フコト、之ハ先ニモ申シマシタ如ク免許ヲ取消スト云フコトハ重大ナルコトデアリマスカラ、稅務署長ハ此法律ニ依ッテ取消ヲナスコトガ出來マスケレドモ、實行ニ付テハ上級ノ監督官廳ノ指揮ヲ受ケテヤルコトニスル考デアリマス、稅務署長ヲシテ單獨ニ職權ヲ行ハシムルコトハ致サヌ考デアリマス、ソレカラ若シ免許ノ取消ヲ受ケタキニ救済ノ途ヲ與ヘルカ與ヘヌカト云フコトデアリマスガ、是ハ營業免許ノ許否デアリマスカラ、行政訴訟モ、訴願モスル途ガアリマス、取消ノ處分ヲ受ケタ營業者ガアリマシタナラバ、行政訴訟又ハ訴願ヲ起シテ權利ヲ伸張スルト云フ途ハ開イテ居リマス、徒ラニ稅務官吏ノ處分ニ屈服スル譯デアリマセヌ、異見ガアレバ訴ヘテ出ル途ハ開イテ居リマス、要スルニ免許ノ取消ハ最重要ノコトデアリマスカラ、輕易ナル反則ニハ適用スルコトハ致サヌ積リデアリマス、尙重大ナル反則等ノアリマシタ場合ニモ、營業者ノ從來ノ業務ノヤリ方ガ誠實デアルカ不誠實デアルカト云フコトヲ審案シテ、然ル後ニ最後ニ致ス積リデアリマス

○久保伊一郎君 ちヨット酒稅造法ノ附則ニ本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ストアリマスガ、政府委員ノ說明ニ依リマスルト見越釀造ヲ防グタメニ公布ノ日ヨリ施行スト定メタト云フ話デアリマスガ、成程ソレハ御尤モデアリマスケレドモ、清酒ノ釀造ニハ季節ガアッテ、舊來ノ釀造法ニ依ルト夏期ニ向フト造レナイ、先ツ來月中デ釀造ガ終ル、此法律ガ兩院ヲ通過シテ公布シタトコロデ先ヅ極ク末ノ方ニ少シバカリシカ掛リハセヌカト思フ、デ今マデ一遍斯ウ云フコトガアッタガ、大抵次期ノ釀造季節、マア今度ノ言ヘバ四十四年十月一日ヨリ施行スト云フヤウナ都合ニナッテ居ル、然ルニ是ハ公布ノ日ヨリトアルト一釀造期間ノ即チ昨年ノ十月カラ本年ノ三月頃マデ造ル酒類ノ中デ二百萬石造ルモノナラ百七十萬石ハ十七圓ノ稅率、三十萬石ハ二十圓ノ稅率ト云フヤウナ妙ナコトニナリマス、ソレデ本邦主産地ノ清酒ノ査定ガ凡ソ例年ノ模樣ガ何時頃多ク査定サレデ居ルカ、御調ガツイテ居ルナラ後トデモ宜イカラ御聽カセ下サイ、是ハ法律ガ兩院ヲ通過シテ公布サレタ結果、主産地ノ大部分ハ釀造清酒ニ對シ改正稅法ノ課稅ガ出來得ルカ、極ク少部分ノ課稅ニナルカラ豫算スル必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ尙序ニ伺ヒタイノハ三十三條ノ一項ノ規程ニ對シテ、先刻濱田君カラノ御尋ニ、政府委員ノ答辯ニ

ハ沒收サレタ酒モ製成其他必要ノ行為ヲ繼續セシムルコトヲ得ト云フ——繼續セシムル
ト云フコトノ命令ヲ發スルノデアル、斯ウ云フ政府委員ノ御答辯デシタ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレハ間違デス

○久保伊一郎君 私ハ此明文宜カラウト思フ、詰リ今政府委員が間違デアルト云
フ御話デゴザイマスカラ強テ申シマス譯デハアリマセヌケレドモ、ヤハリ今日ハ法律ヲ拵ヘ
ルノデアリマスカラ、能ウ其立法ノ趣旨ヲ明カニ致シテ置キタイ、是ハ詰リ沒收ノ場合デ
ナクシテ、サウ云フ反則ヲ常ニヤル者ニ對シテハ、何時政府ハ清酒ノ製造ノ免許ヲ取消
スコトガ出來ル、取消サレタ場合ニ釀代賣譯ニ往カヌデ取消サレルコトハ、取消サレタ
ケレドモ、其不熟成ノモノダケハキチント製成スルヤウニ爲サシムルコトダケハ許ス、所謂營
業者ノ利益ノためニ許ス、斯ウ云フ法文ノヤウニ解シテ宜カラウト思ヒマス、果シテソレデ
宜イカ、是モ序ニ一寸伺ッテ置キタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今久保君カラ三十三條第二項ニ付テノ御尋ネガゴ
ザイマシタガ、是ハ先刻私ノ答辯が間違ッタノデアリマス、沒收シタモノニ此規程ハ及ブノ
デハゴザイマセヌカラ茲ニ訂正ヲ申上ゲテ置キマス、沒收シタモノニ繼續セシムルト云フコト
デハナイデス、免許ヲ取消シタ營業者デスカラ營業者ノ利益ノためニ此規定ヲ設ケタ譯
デゴザイマス、ソレカラ附則「公布ノ日ヨリ」ト云フコトニ付テ御尋デゴザイマシタガ、清
酒ニ付テハ唯今久保君ヨリ大体御尋ノ通りデアリマス、地方ニ依ッテ酒ノ製造期節ノ
早イ晚イハアリマスガ、清酒ニ付テ申シマス先ヅ十二月頃カラ始メマシテ一月二月位
デ先ヅ止リマス、併シ是ハ暖イ地方ト寒イ所ニ依ッテハ時期ガ多少違ガアリマス、寒イ
方ノ地方デハ灘若クハ九州地方ニ較ベマストイクラ早ク始メテ晚ク終ルト云フ風ニナッ
テ居リマス、唯今月別ト云フノハチヨット此所ニ持チマセヌ

○久保伊一郎君 後デ宜ウゴザイマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 後ニ申上ゲマス、サウ云フ風デアリマシテ公布ノ日ヨリ
施行スト云フコトニナリマスノト、十月一日カラ是ガ實施ニナルニ付テハ其間大シタ差ガ
無イヤウニ御考ニナリマスルガ、清酒ニ付テ申シマスルト云フ御説ノ通りデゴザイマス、併
シ燒酎其他ノ酒ニ付キマシテハ酒精麥酒ト云フヤウナモノニ付キマシテハ麥酒ナドハ年
中ヤッテ居リマス、斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、十月ニナルト公布ノ日ヨリ施行ニナルノ
トハ其間餘程ノ差ガアルト思ヒマス

○木村半兵衛君 私ハ此酒ノ稅ヲ増シマススコトニ付テハ稅制整理委員會ト同シ考ヲ
一體持ッテ居リマス、ソレ故ニ之ヲ増スニ或程度ヲ超ヘテハ增收ガ出來ナイト云フ考ヲ
持ッテ居リマス、故ニ之ヲ増ス理由ニ付テ自分ハ御尋シタイト思ヒマシタコトコガ、皆サン
ノ中ニ大分御尋ニナッタ人ガゴザイマス、殊ニ大熊君ノ麥酒ニ付テノ御尋、外國ニ比シ
テハ日本ノ麥酒ハドウモ稅率ガ高イト云フコトノ問ニ對シテ、櫻井政府委員ノ御答辯
デハ外國デハ重ニ麥酒ハ一般人民ノ飲料デアアルカラ廉イノダト云フコトヲ正ニ答ヘタ、是
ハ速記録ヲ御覽ニナルト分ル、其筆法ヲ以テ參ルト日本ノ酒ハヤハリ日本人一般ノ飲
料トナッテ居ル、併シナガラ日本人ハ貧乏デアアルカラト云フコトナラ格別、サモナイ以上
ニハヤハリ酒ハ一般人民ノ飲料デカラシテ、外國ノ麥酒ノ例ニ倣ヒマスレバ稅率ヲ低メナ
ケレバナラヌト云フ論定ガ出來ナケレバナラヌ、所ガソレハ麥酒ト別ノヤウデアリマス、ソ

レカラ又政府委員ノ說明サレルトコロニ依リマスト云フト、消費者ヲシテ成ルタケ出來得
ル限リ廉イモノヲ消費セシメタイト云フ考ヲ御述ニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ大藏
次官等ハ其說ヲ御出シニナッタガ、サウ云フ考カラ行キマスト此石高ヲ二百石以上ニ
制限シヤウナド、云フノハマルデツレト矛盾シテ居ル、是ハ村落ニ在ルトコロノ酒屋ハ悉ク
潰シテシマフ、營業ガ出來ナクナリマス、田舎ノ憫レナルトコロノ百姓ヲシテ高イ灘ヤ何
カノ酒ヲ飲マシムルト云フコトニハナリマスガ、廉イ酒ヲ飲ンデ勞働ノ慰ラスルト云フコトハ
出來ナクナル、誠ニ御述ニナルトコロノ說ト事實トハ始終矛盾シテ參ルヤウニ吾々ハ思
ハレル、此酒ニ付テノ制限ヲ布クト云フコトハ畢竟專賣法ヲ布イタト同シ結果デアル、イ
ヤデモ應デモ高イ酒ヲ田舎ノ者ハ飲マネバナラヌト云フ結果ヲ生ズル、稅ヲ取ルト云フノガ
目的デアアルナラバ成ルタケ小サナモノニモ許シテ多クノ人ニ造ラセタ方が宜イ、自家用
料ノ如キモ、寧ろ稅ヲ下ゲテ何所デモ造ラセタ方が稅ヲ増スドラウト思ヒマス、誠ニ政
府ノ御考ガ矛盾シテ居ルヤウニ思ハレル、ドチラガ主デアルカ、唯稅ヲ旨ク取リサヘスレバ
宜イト云フノデアアルカ、一向分ラヌカラシテ其邊ノ所ヲ明瞭ニ、一ツ御答辯アランコトヲ希
望致シマス

○政府委員(菅原通敬君) 唯今御尋ノ第一段ノ麥酒ニ付テハ主稅局長カラ御答
辯ニナリマシタ、其事ハ私ハ斯ウ云フ風ニ解釋シテ聽イテ居ッタノデアリマス、外國ニ於ケ
ル麥酒ト云フモノハ一般ノ飲料デアアルカラ、割合ニ稅率ヲ低クシテ相當ノ財源ヲ得ルコ
トガ出來ル、サウ高ク稅率ヲシナクテモ相當ニ稅源ガアル、斯ウ云フ意味デアッタノデ、ソ
レデ外國ノ麥酒ノ稅率ハ如何ニモ御話ノ如ク日本ノ稅率ヨリハ、日本ノ稅率ヨリハ大變
ニ廉イト云フコトニナッテ居ル、併ナガラ御承知ノ通り日本ノ麥酒ヨリハ「アルコール」分
ガ少ナイヤウデゴザイマス、ソレデ又租稅ト云ヒマスル極メテ高ウゴザイマス、外國ノ一
人ニ對スル酒稅ノ負擔ト云フモノハ、英國ハ七圓、露西亞ハ五圓六十錢、佛蘭西ハ
四圓三十錢デアル、然レ日本ノ酒ノ稅率ハ一人當リ僅カニ一圓三十錢ニ過ギナイ、ソ
レデアアルカラ外國ニ於テハ麥酒ニ此上高イ稅率ヲ掛ケマシテ澤山ノ酒稅ヲ課ス必要ハナ
カラウガ、日本ノヤウナ所ニ於キマシテ酒カラ稅ヲ上ゲヤウト致シマスレバ、一石ニ付テ十
圓モ二十圓モ取ラナケレバナラヌ振合ニナル、又其位取ルノガ相當デアル、ソレデ權衡ガ
取レルト斯ウ云フコトデゴザイマス、ソレカラ造石ニ制限ヲ附スルト云フコトハ酒ヲ專賣ニ
スル一ノ階段デアアル、而シテサウナルト酒ノ供給ガ少ナクナッテ、一般人民ハ高イ酒ヲ飲
マナケレバナラヌト云フコトニナル、是ハ豫テ政府ガ成ルベク廉イモノヲ供給スルト云フ方
針ニ相反スルデアナイカト云フヤウナ御趣意ニ聽取リマシタガ、製造石數ニ制限ヲ設ケマシ
タノハ、是ハ生産力ヲ纏メマシテ成ルベク生産費ヲ廉クシテサウシテ、成ルベク廉イ酒ヲ造ラ
セヤウト云フ趣意デ、制限ヲ付ケタノデアリマス、各地ニ小サイモノガ散在シテ居ルト、不生
產のニナルカラ一緒ニ纏メテ廉イ酒ヲ造ルト云フノデゴザイマス、高イ酒ヲ一般ニ賣ルト
云フコトハドウシテモイケンナイト考ヘマシテ、造石高ニ制限ヲ付ケタノデゴザイマス

○木村半兵衛君 唯今ノ御答辯ハ甚ダ要領ヲ得ナイ私ハ外國ノ一人當リノ酒ノ稅ハ
ドウ位カナド、云フコトハ聽ク必要ハナイ、外國ト日本トハ生活程度ガ違フ、向フモノヲ
ソツクリ日本ニ持ッテ來タノデハ、スツカリ違フ、マルデ私ノ質問シタコトハ違ヒマス、尙私ハ正
確ナル御答辯ヲ願ヒマス、ソレカラ製造ヲ成ルベク纏メテ造ラセヤウト云フタメニ、二百石

ト極メタ、餘計造レバ造ルホド價ノ廉イモノガ出來ルト云フコトハ、日本ノ今日ノ現狀ノ事實トハ反シテ居ル、若シサウ云フ御議論ナラバ上方アタリテ造ル所ノ酒ト云フモノナドハ、地酒ヨリハ餘程廉クナラナレバナラヌ、サウ云フコトハ事實ニ於テ明カデアル今日合同ヲサセルト云フコトハ小サナ資本ノ田舎ノ造リ酒屋ナドハ事實ニ於テ潰サレルコトニナル、現在此造リ高ニ付テ先刻御話ニナッタ如ク、今休ンデ居ル——休造シテ居ルモノヲ見テモ知レル、休造シテ居ルノハ地方ガ多イカ、市街地ガ多イカト云フコトハ、是ハ一目明瞭ナコトデアラウト信ズル、實ハモウ段々ト今日マデモ地方ノ酒屋ハ稅ガ重クナッテ來タメニ減ッテ參ッダ、此上造石高ニ制限ヲ加ヘタラ村落ノ酒屋ト云フモノハ尙非常ニ減ッテシマフコト、私ハ信ジテ居リマス、ダカラシテ唯大キナモノヲ繼メテ造レバ廉イモノニナルト云フコトハ甚ダ事實ニ當ヘラヌ御議論デアルト思ヒマス、御承知ノ通り政府ノ此煙草專賣ト云フコトハ果シテ如何デゴザイマセウ、甘イ煙草ヲ廉ク喫ハセルト云フヤウナ御説明ニナッテ居ッダガ、扱テ出來上ッダ所ハ如何デゴザイマセウ、高クテ不味イモノヲ供給スルト云フヤウニナッテ來マシタ、政府ニ於テナサッタ仕事ハ此例ニ依ッテ見テモ明白ナルコト、思ヒマス、之レニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(菅原通敬君) 唯今御述ニナリマシタ所ハ大分御議論ノヤウデアリマシタガ、私カラ御答致シマシタコトデ御不滿ノコロハナカロウト思ヒマス、第一ノ分ノ外國ノ例ヲ引イタノハ何モ必要デナイト言ハレマスルガ、ソレデハドウ云フコトデ御聞キナッタノデゴザイマスカ(木村半兵衛君)ソレハ一般人民ノ飲料デアルカラ廉クナレバナラヌト云フタノ「ト呼フ」一般人民ノ飲料デアルカラ廉イト云ウヤウナコトニ付テ御述ベニナッタノデカラ、ソレニ付テ御答ヲ申上ゲヌノデゴザイマス、此事ハドウモソレダケ申上ゲテ置イタノデ宜イカト思ヒマス、一般ノ飲料デアッテ斯様ニ消費サレテアル、ソレデアルカラ外國ニ於テ酒ト云フモノニ財源ヲ求メヤウトスルナラバ高イ稅率ヲ求メナクッデモ、必要ナル收入ハ得ラル、ソレデアルカラ割合ニ稅率ガ廉イ日本デモ酒カラ六千万圓ヲ取ルト云フコトハ一般ノ飲料デアルカラ極メテ廉イカ麥酒ハ左様デナイカラ、自然モツ稅率ヲ高クシナレバナラヌト云フコトニナルノデゴザイマス、ソレカラ制限石數ヲ設ケルト云フコトハ、生産費ヲ少ナカラシムルト云フコトヲ第一ノ理由トシテ申上ゲタノデゴザイマス、其他種々ノ必要モゴザイマスルガ、唯其生産費ヲ少ナクシナレバ、此場合ニ於テ政府ノ考ヘテ居ル如キ生産高ヲ求ムルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソレハ經濟原則カラ言ヒマシテモ、是等ヲ合同シテヤルト少シツヤルト、ドチラガ生産費ガ安クナルカ、是ハ合同シタ方ガ安イト云フコトハ當然ノコトデアルト思ヒマス

○鈴木總兵衛君 櫻井政府委員カラノ先刻ノ御答辯ニ付テ質問致シマス、此麥酒、酒精、酒精含有飲料稅ト云フモノハ其附則ヲ見マスルト本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ストアリマス、是ハ此議會ノ決議ノ模樣ニ依リマシテ、四十年度中ニ多少收入ガアルト信ジマス、之ニ付テ何程ノ收入ガアルカ御計算ガアリマシタナラバ承リタイソレヲ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今鈴木君ノ御問ヒデゴザイマスガ、御尋ノ通り四十年度ノ收入ハ誠ニ僅ナモノデアラウト思ヒマス、今茲ニ計算ヲ致シタモノヲ持ッテ居リマセヌガ、極メテ少額ノモノガ這入ラウト思ヒマス、別ニ計算ニ上セル程ノモノデナイト思ヒマス

○鈴木總兵衛君 唯今ノ政府委員ノ御答ニ依ルト計算ハシナイガ、少額デアラウト云

フコトデゴザイマスガ、隨分二月ノ末カラ三月ニ掛ケテハ酒造家ノ所謂釀造ノ期節デゴザイマス、又麥酒ナラバ年中同ジデゴザイマスカラ、此一箇月餘ノ間ニハ相當ノ高カ上ルト思フ、政府委員ハ唯少數ト云フダケダ、一萬ヤ二萬ト云フモノデハナカラウ恐ラク何拾萬圓ト云フコトニナラウト思フ、若シ御計算ガ出來テ居リマスナレバ明後日迄ニ御廻シニナラン事ヲ希望致シマス

○久保伊一郎君 先刻私ノ問ニ對シテ櫻井政府委員ノ答辯ガアリマシタガ清酒ノ釀造期即チ査定ヲ受ケルトコロノ期間ハ極ク僅デ、ソレハ私ノ質問ノ通りデアルト斯之云フ御答辯デゴザイマシタ、サウスルト此改正スベキ稅率ヲ適用致シマスルノハ極ク僅カナモノデ——僅カナモノデアリマスナラバ、相成ルベクハ、本年度即チ四十一年度ノ釀造期カラ斯ウ云フコトニ、十七圓ト二十圓ノ稅率ヲ區別シテ置ケル、却テ國民即チ消費者ノタメニハ課額ガ——全ク課稅ヲ受ケタ部分ダケ、即チ國家ノ歲入ノ部分ダケガ、消費者ガ負擔スルト云フコトニナルデ、相成ルベクハ麥酒其他酒精、燒酎、白酒ト云フヤウナモノハ清酒ト釀造期ガ違ヒマスカラ、之ヲ別問題トシテ此清酒ニ限ッテハ成ルベク其僅カノ財源上ノ都合ニ依リマスモノナラバ、成ルベク清酒ニ限リ來ル四十一年度ノ釀造期カラ之ヲ實施スルト云フコトニシテモ餘リ差支ガ無イ様ナ政府委員ノ御答辯デアリマスガ、其點ヲ確メタイノデアリマス、ソレハナセデアルト云フト、今一釀造期ノ間ニ先刻申シタ百石ハ十七圓、三十石ハ二十圓斯ウ云フ事ニナリマス、其百石ノ今日此法律ヲ公布致シマスル迄ノ査定ヲ受ケタ酒ガ、消費者ノ方ニハ未ダ渡ッテ居ラヌ、即チ釀造家ノ手許ニアル、而シテ釀造ヲ終マサル時分ニ、僅カ二十石ノ査定ヲ受ケタ、即チ其酒ニ對シテ三圓ノ増率ノ課稅ヲ受ケテ居ル、ソレデアルカラ釀造家ハ恰モ此法律ノ發布ニナルコトヲ豫想シテ丁度見越釀造ヲシタヤウナ結果ニナッデ、値段ハヤハリ二十圓ノ稅率ヲ譯セラレタモノト同様ノ意思ヲ以テシカ販賣ヲ致シマセヌ、サウスルト消費者ガ國家ニ租稅トシテ納メタナクシテ、昨日ノ此委員會ニ於テモ水町次官カラ煙草ノコトニ付テ御話ニナッタ、成ルベク消費者ニ稅ヲ拂ハセテ國庫ガソレダケノ收入ヲセズシテ、元賣捌人トカ云フモノガ利益ヲスルト云フコトハ成ルベク避ケナレバナラヌト、云フ様ナ趣意カラ突然値上ゲヲシタノデアルト云フヤウナ政府委員ノ御説明ノヤウニ伺ヒマシタガ、果シテソレデアレバ此清酒ニ限ッテハ成ルベク十月一日ヨリ之ヲ施行スルコトニスルノガ穩當ダラウト思ヒマス、ソレニ對シテ若シ修正スルト云フコトデアリマスレバ、政府委員ハ御異議ハ無イノデアリマス、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) チョット御答致シマス、唯今久保君カラ此酒造稅法ノ改正ヲ四十一年十月一日ヨリト云フ風ニスルガ宜カラウト思フ、サウシテ差支ガナカラウト云フ御問デアリマスガ、ソレハ一ノ御意見ト思ヒマス、政府ノ此原案ヲ發シマシタ趣意ハ先刻申述ベマシタ通り、執行ノ期間ヲ長ク置キマスルト其間ニ諸種ノ害ガ見エ、清酒ニ付テハ御説ノ通り餘リ多クハアリマセヌケレドモ、ソレデモ未ダ寒イ地方ニ於テハ二月或ハ三月ニ入ッテモ造ル所ガアラウト思ヒマス、サウ云フ關係ガアリマスカラ、政府トシテハ此原案ノ通りニ定メラル、コトヲ希望致シマス

○委員長(栗原亮一君) モウ酒ノ質問ガ宜シケレバ今日ハ爰デ閉會致シマス、ソレデハ酒ノ質問ハ是デ結了致シマス、次回ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時七分散會